EPSON
EXCEED YOUR VISION

システム管理者ガイド

NPD5761-02 JA

目次

商標 5

マニュアルの見方 6

マークの意味 6
マニュアル記載の前提 6
OS表記 6
マニュアルのご注意 7

はじめに 8

マニュアルの構成 8
マニュアルで使用する用語の定義 8

準備編 11

プリンター設定、管理の流れ 11
ネットワーク環境の例 12
プリンター接続設定の紹介 12
ネットワーク接続の準備 14
接続設定情報の収集 14
プリンター仕様 14
使用するポート番号 14
IPアドレスの割り当てタイプ 15
DNSサーバー、プロキシサーバーについて 15
ネットワーク接続設定方法の紹介 15

接続編 17

ネットワークに接続する 17
操作パネルでネットワークに接続する 17
インストーラーを使ってネットワークに接続する 23
電話回線に接続する 24
使用できる電話回線 24
プリンターを電話回線に接続する 24
電話機とプリンターを接続する 26
ファクスの基本設定をする 27
ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする 28
ファクス受信時の給紙装置を設定する 29
Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を使う 29
Wi-Fi Direct（シンプルAP）を有効にする 29
メールサーバーを設定する 30
メールサーバー設定項目 30
メールサーバーとの接続を確認する 31
メールサーバー接続確認結果 32

機能設定編 34

設定に使うソフトウェア 34
Web Config（デバイスのウェブページ） 34
印刷機能を使う 35
ネットワークで印刷するために必要なこと 35
サーバークライアント型接続でのプリンタードライバー設定 35
ピアツーピア型接続でのプリンタードライバー設定 40
スキャン機能を使う 42
コンピューターからスキャンするには 42
操作パネルを使ってスキャンするには 43
ファクス機能を使う 43
受信モードを設定する 44
外付け電話機だけでファクスを受信する（リモート受信） 45
受信文書の処理 45
ファクス設定メニューの説明 49
PC-FAX機能を使う 57
アドレス帳を使う 58
宛先設定の概要 58
アドレス帳の設定 58
LDAPサーバーと利用者を連携する 63
アドレス帳のバックアップ 68
システムの詳細を設定する 69
操作パネルの動作を設定する 69
無操作時の省電力設定をする 69
音の設定をする 70
タイムサーバーと日付/時刻を同期する 70
スキャン、コピーの標準値を設定する（ユーザーデフォルト設定） 71
よく使う設定をお気に入りに登録する 71
MS Networkを使う 72
印刷設定 73
Epson Connectサービスを使う 73

本体のセキュリティー編 74

本体のセキュリティー機能の紹介 74
管理者パスワードの設定 75
操作パネルから管理者パスワードを設定する 75
Web Configから管理者パスワードを設定する 76
管理者パスワードでロックされる項目 77
利用できる機能を制限する 79
利用制限を設定する 79
外部インターフェイスの制限を設定する 81
利用するプロトコルを制御する 82
プロトコルを制御する 82
有効・無効が設定可能なプロトコル 82
プロトコルの設定項目 83
プリンターとのSSL/TLS通信 85
使用できる電子証明書 85
CA署名証明書の取得とインポート 86
CA署名証明書を削除する 90
自己署名証明書を更新する 90
相手サーバー検証用CA証明書を設定する 91

運用・管理編 94

デバイスの情報を確認する 94
デバイスの管理（Epson Device Admin） 94
ファームウェアのアップデート 95
操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する 95
Web Configでファームウェアをアップデートする 96
Epson Firmware Updaterを使ってファームウェアをアップデートする 96
設定のバックアップ 96
設定をエクスポートする 97
設定をインポートする 97

トラブルを解決する 99

トラブルを解決するための情報 99
サーバーやネットワーク機器のログの確認 99
設定の初期化 99
Web Configから無線LANを無効にする 99
Web ConfigからWi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にする 100
操作パネルから無線LANを無効にする 100
操作パネルからWi-Fi Direct(シンプルAP) 接続を無効にする 101
操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す 101
デバイスとコンピューターの接続を確認する .101
コンピューターとの接続をPingで確認する - Windows 101
コンピューターとの接続をPingで確認する - Mac OS 103
ネットワーク接続診断レポートを印刷する 104
ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法 105
E-1 105
E-2、E-3、E-7 106
E-5 107
E-6 107
E-8 107
E-9 108
E-10 108
E-11 109
E-12 109
E-13 110
ネットワーク環境に関するメッセージ 110
ネットワークステータスシートを印刷する 110
ソフトウェア使用時のトラブル 111
Web Configにアクセスできない 111
EpsonNet Configで製品名やIPアドレスが表示されない 112
クラウドサービス使用時のトラブル 112
クラウドサービスを利用できなくなった 112
セキュア環境への接続時のトラブル 113
セキュアIPP印刷のポートが作成できない 113
電子証明書使用時のトラブル 113
CA署名証明書のインポートができない 113
自己署名証明書が更新できない 114
CSRが作成できない 114
証明書に関する警告が表示された 115
CA署名証明書を誤って削除した 116

付録 117

ネットワーク関連のソフトウェア 117
Epson Device Admin 117
EpsonNet Config 117
EpsonNet Print（Windowsのみ） 118
EpsonNet SetupManager 118
EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する ..118
一括でIPアドレスを設定する 119
IPアドレスを個別に設定する 121
操作パネルを使って無線LANに接続する（WPS） 122

プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS） 123
PINコードで設定する(WPS) 124
接続方法を変更する 124
有線LANから無線LANへの接続変更 125
無線LANから有線LANへの接続変更 125
プリンターが使用するポート 126
操作パネルの管理者用設定メニュー 128

商標

- Epson Scan 2 software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Chrome、Chrome OS、AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、macOS、OS X、Bonjour、Safari、AirPrint、AirPrint Logo、iPad、iPhone、iPod touch、iTunesは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

マニュアルの見方

マークの意味

⚠注意　この内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考　補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- プリンタードライバーとEpson Scan 2（スキャナードライバー）の画面はWindows 10またはOS X El Capitanでの画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- イラストは一例です。機種によって多少異なりますが、操作方法はほぼ同じです。
- 画面の設定項目は、機種や設定状況によって異なります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版

- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

Mac OS

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「macOS Sierra」「OS X El Capitan」「OS X Yosemite」「OS X Mavericks」「OS X Mountain Lion」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.8」の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2019 Seiko Epson Corporation

はじめに

マニュアルの構成

本書はデバイス管理者向けに、プリンターやスキャナーなどのデバイスのネットワーク接続や、それぞれの機能をユーザーが使用できるまでの設定を記載しています。
それぞれの機能を使用する方法は『ユーザーズガイド』をご覧ください。

準備編

デバイス管理者が行うことやデバイスの設定、管理をするためのソフトウェアを説明しています。

接続編

デバイスをネットワークや電話回線に接続する方法を説明しています。デバイスが使用するポートやDNS、プロキシサーバーの情報など接続環境についても説明しています。

機能設定編

印刷、スキャン、ファクスなどデバイスの各機能を使用するための設定を説明してます。

本体のセキュリティー編

管理者パスワードの設定やプロトコルの制御など、基本的なセキュリティー設定を説明しています。

運用・管理編

デバイス使用開始後の情報確認やメンテナンスの方法などを説明しています。

トラブルを解決する

設定の初期化とネットワークでのトラブルシューティングを説明しています。

マニュアルで使用する用語の定義

本書では以下の用語を使用しています。

システム管理者

企業や組織などでデバイスやネットワークに関する設置や、設定をする権限を持つ人を指しています。小規模な組織ではネットワーク管理者、デバイス管理者を兼ねているケースがあります。大規模な組織では、部や課といった組織のグループ内のネットワークや機器に関しての権限を持つ人を指していて、インターネットなど組織外への通信設定の権限はネットワーク管理者が担います。

ネットワーク管理者

企業や組織などでネットワーク通信の制御を担当している人を指しています。ルーターやプロキシサーバー、DNSサーバー、メールサーバーなど、インターネットやネットワーク間の通信を制御している人です。

ユーザー（利用者）

プリンターやスキャナーなどのデバイスを使用するエンドユーザーを指しています。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）

プリンターをWindowsサーバーにネットワークまたはUSBケーブルなどで接続し、サーバーで設定したプリントキューを共有する接続を指しています。プリンターとコンピューターの通信はサーバーを経由し、プリンターの制御をサーバーで行います。

ピアツーピア型接続（直接印刷）

プリンターとコンピューターがハブやアクセスポイントなどでネットワークに接続されていて、コンピューターから直接プリンターに印刷を実行する接続を指しています。

Web Config（デバイスのウェブページ）

デバイスに内蔵しているウェブサーバーです。Web Config（ウェブ コンフィグ）と表記しています。ネットワークからブラウザーを使ってデバイスの情報確認や設定ができます。

プリントキュー

Windowsの場合、［デバイスとプリンター］にあるプリンターやスキャナーなど、ポートごとに作られるアイコンを指しています。1台のプリンターでもStandard TCP/IPやWSDなどネットワークに接続しているそれぞれのポートにアイコンが作成されます。

ツール

Epson Device Admin（エプソン デバイス アドミン）やEpsonNet Config（エプソンネット コンフィグ）、EpsonNet SetupManager（エプソンネット セットアップマネージャー）など、デバイスの設定や管理を行うソフトウェアの総称として使用しています。

プッシュスキャン

デバイスのパネル操作を起点としたスキャンの総称です。スキャン結果をフォルダーに保存、メール添付、クラウドサービスへ保存する機能を指します。

ASCII （アスキー、American Standard Code for Information Interchange）

標準的な文字コードの一つです。アルファベット（a-z、A-Z）やアラビア数字（0-9）、記号、空白文字、制御文字などを収録した128文字が規定されています。本書で「ASCII文字」と表記している場合、下表にある0x20～0x7E（16進数）を指し、制御文字は含みません。

SP*	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	¦	}	~	

*　空白文字（スペース）です。

Unicode (UTF-8)

国際的な文字コード規格です。世界中の主な言語で主に使われる文字をカバーしています。「UTF-8」とある場合、UTF-8形式で符号化した文字を指します。

準備編

この章では、システム管理者の役割や設定前の準備などを紹介しています。

プリンター設定、管理の流れ

システム管理者はユーザーがプリンターやスキャナーなどのデバイスを使用できるように、ネットワークへの接続、初期設定、メンテナンスなどをします。

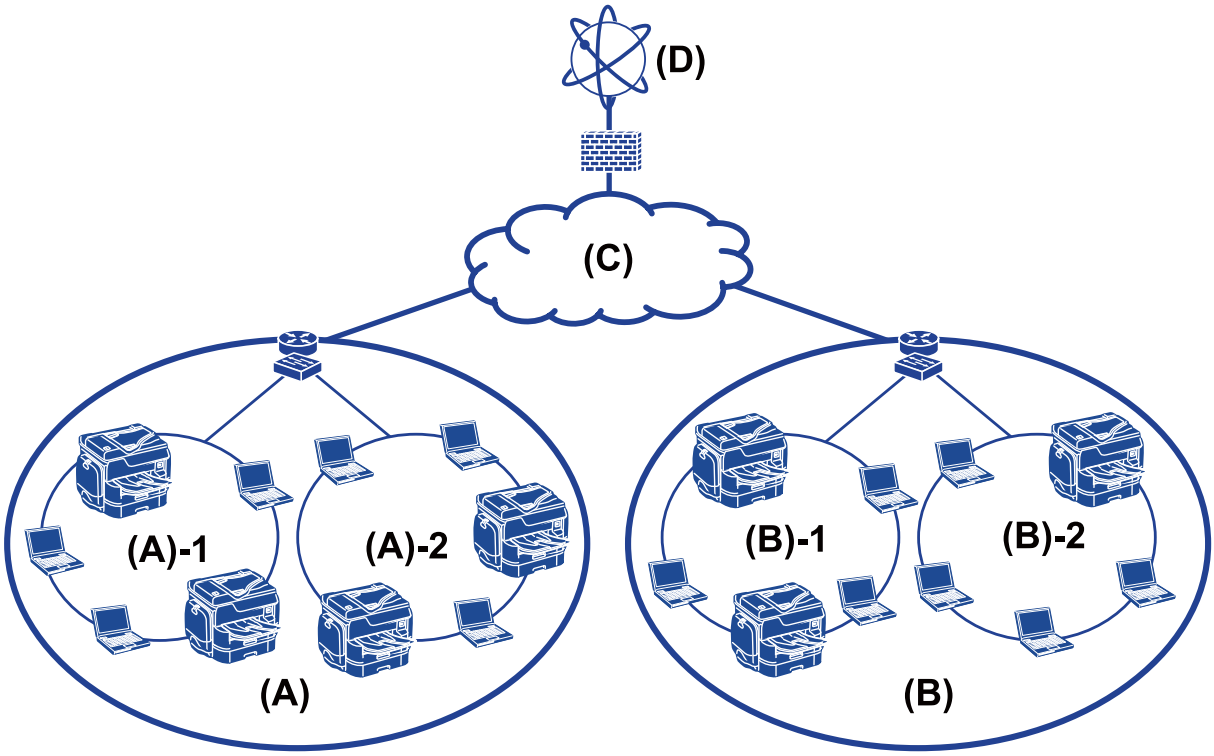
1. 準備する
   - 接続設定情報の収集
   - 接続形態の決定
2. 接続する
   - プリンターの操作パネルを使ったネットワーク接続
   - 電話回線への接続
3. 機能を設定する
   - プリンタードライバーの設定
   - スキャナードライバーの設定
   - ファクス設定
   - アドレス帳の登録と設定
   - Wi-Fi Direct （シンプルAP）接続設定
   - その他の詳細設定
   - クラウドサービス設定
4. セキュリティー設定をする
   - 管理者設定
   - 利用者制限の設定
   - SSL/TLS
   - プロトコル制御
5. 運用、管理する
   - デバイスの状況確認
   - デバイス設定のバックアップ

関連情報

➡ 「準備編」11ページ
➡ 「接続編」17ページ
➡ 「機能設定編」34ページ
➡ 「本体のセキュリティー編」74ページ

➡ 「運用・管理編」94ページ

ネットワーク環境の例



（A）：オフィス1

- （A）-1：LAN1
- （A）-2：LAN2

（B）：オフィス2

- （B）-1：LAN1
- （B）-2：LAN2

（C）：WAN
（D）：インターネット

プリンター接続設定の紹介

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。どちらもプリンターを直接ネットワークに接続します。

- サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）
- ピアツーピア型接続（直接印刷）

関連情報

➡ 「サーバークライアント型接続設定」13ページ
➡ 「ピアツーピア型接続設定」13ページ

サーバークライアント型接続設定

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。
プリンターとサーバーをUSBケーブルで直接接続することもできます。

プリンタードライバー：

Windowsサーバー上に、各クライアントコンピューターのOSにおけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。
Windowsサーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピューターにインストールされて使用できるようになります。

特徴：

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windowsサーバーが停止していると印刷できません。

関連情報

➡ 「マニュアルで使用する用語の定義」8ページ

ピアツーピア型接続設定

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンタードライバー：

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。
EpsonNet SetupManagerを使ったパッケージ配布や、Windowsサーバーのグループポリシーを使って自動配信ができます。

特徴：

- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

関連情報

➡ 「マニュアルで使用する用語の定義」8ページ

ネットワーク接続の準備

接続設定情報の収集

ネットワーク接続にはIPアドレスやゲートウェイアドレスなどが必要です。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
デバイス接続方法	• 有線LAN • 無線LAN （Wi-Fi）	有線LAN接続にはカテゴリー 5e 以上の STP（Shielded Twisted Pair）ケーブルを使用してください。
LAN接続情報	• IPアドレス • サブネットマスク • デフォルトゲートウェイ	ルーターのDHCP機能でIPアドレスを自動で割り当てる場合は不要です。
無線LAN接続情報	• SSID • パスワード	以下に対応しています。 • 準拠規格：802.1b/g/n • 無線セキュリティー：WEP（64/128bit）、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
DNSサーバー情報	• プライマリーDNSのIPアドレス • セカンダリーDNSのIPアドレス	以下のいずれかの場合は、DNSサーバーを設定してください。 • 固定のIPアドレスを使う場合 • DHCP機能でIPアドレスを自動割り当てしていて、DNSサーバーを自動設定できない場合
プロキシサーバー情報	• プロキシサーバー名 • 使用するポート番号	インターネット接続にプロキシサーバーを利用していて、Epson Connectサービスやファームウェアの自動更新機能などを利用する場合は設定してください。

関連情報

➡ 「IPアドレスの割り当てタイプ」15ページ

プリンター仕様

プリンターが対応している規格や接続モードなどの仕様は『ユーザーズガイド』をご覧ください。

使用するポート番号

プリンターが使用するポート番号の情報は「付録」をご覧ください。

関連情報

➡ 「プリンターが使用するポート」126ページ

IPアドレスの割り当てタイプ

プリンターのIPアドレス割り当てには以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めた固有のIPアドレスをプリンターに割り当てます。
プリンターやルーターの電源を切ってもIPアドレスは変更されないので、IPアドレスによる管理ができます。
多数のプリンターを管理する大規模オフィスや学校などのネットワークにお勧めします。

DHCP機能による自動割り当て：

プリンターを接続し、DHCP機能を提供しているルーターなどの機器と正常に通信できれば、正しいIPアドレスが自動で割り当てられます。
IPアドレスが変わると都合が悪いデバイスには、IPアドレスを予約して同じIPアドレスを割り当てることができます。

参考　プリントキューのポート指定は、EpsonNet Print Port（エプソンネット プリント ポート）などIPアドレスを自動追従できるプロトコルを選択します。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

インターネット接続するサービスを利用するときは、DNSサーバーを設定してください。設定しないと名前の解決ができないため、アクセス先をIPアドレスで指定する必要があります。
プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入口に配置され、コンピューターやプリンターとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手サーバーはプロキシサーバーとだけ通信しているように見えます。よって、プリンターに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティーの向上が期待できます。
また、プロキシサーバーは通信の内容を見ることができるので、フィルタリング機能で特定のURLへのアクセスを禁止できます。

ネットワーク接続設定方法の紹介

プリンターのIPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどのネットワーク接続は、以下のような方法で設定します。

操作パネルを使う：

プリンターの操作パネルを使って個別に設定します。プリンターの接続設定をしてからネットワークに接続します。

インストーラーを使う：

インストーラーを使用すると、プリンターのネットワーク設定やクライアントコンピューターの設定を自動でできます。
インストーラーの指示に従っていくと設定できるので、ネットワークに関する深い知識がなくても接続できます。サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でサーバーとプリンターの設定をしたり、少数のクライアントコンピューターを設定したりする場合にお勧めします。

ツールを使う：

システム管理者のコンピューターからツールを使って設定します。プリンターを探索して設定したり、設定用SYLKファイルを作成して一括で設定したりできます。大量のプリンターを設定できますが、設定前にLANケーブルで物理的に接続する必要があります。設定用の有線LANを構築できる場合にお勧めの方法です。

関連情報

- 「操作パネルでネットワークに接続する」17ページ
- 「インストーラーを使ってネットワークに接続する」23ページ
- 「EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する」118ページ

接続編

この章では、プリンターをネットワークに接続するための環境や手順について説明しています。

ネットワークに接続する

操作パネルでネットワークに接続する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。
操作パネルの詳細説明は『ユーザーズガイド』をご覧ください。

IPアドレスを設定する

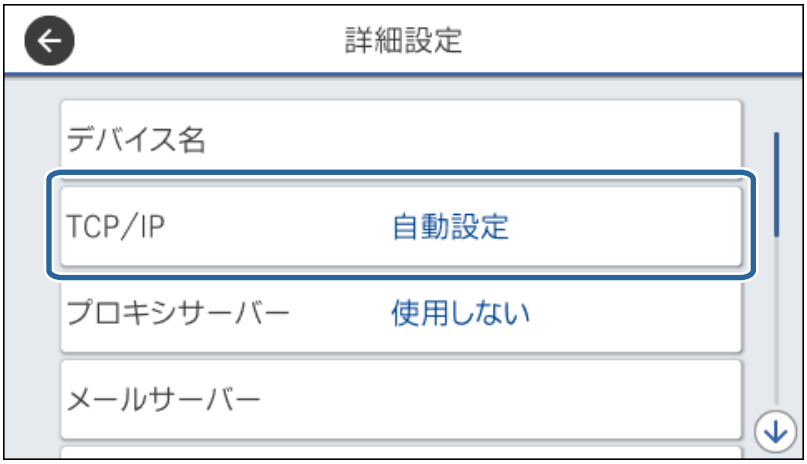
IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。

1. プリンターの電源を入れます。

2. プリンターの操作パネルのホーム画面から［設定］を選択します。

3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［詳細設定］の順に選択します。

4. ［TCP/IP］を選択します。



5. ［TCP/IP設定方法］の［手動設定］を選択します。

IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は［自動設定］にします。その場合は、手順6、7の［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］も自動設定になるので入力できません。手順8へ進んでください。

6. IPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

7. 同様に［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］を設定します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

> **！重要** IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合、［設定を開始する］が有効にならず、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

8. プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

参考 IPアドレスを［自動設定］にすると、DNSサーバー設定は［手動設定］、［自動設定］を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に［手動設定］を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。引き続き、セカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力します。［自動設定］を選択した場合は、手順10へ進んでください。

9. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

10. ［設定を開始する］をタップします。

11. 設定完了画面を閉じます。

プロキシサーバーを設定する

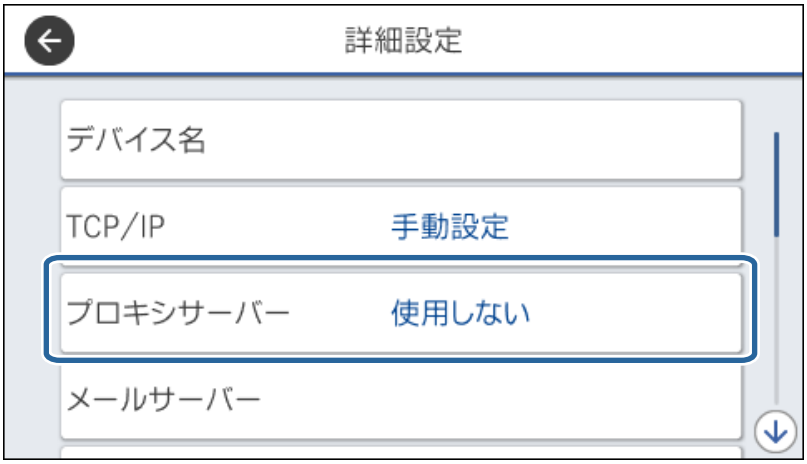
プロキシサーバーを構築している場合は、プロキシサーバーを設定してください。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。

参考 IPアドレスの設定に続いて設定を行うときは、［応用設定］画面が表示されています。手順3に進んでください。

2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［応用設定］を選択します。

3. ［プロキシサーバー］を選択します。



4. ［プロキシサーバー使用設定］を［使用する］にします。

5. プロキシサーバーのアドレスをIPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。

戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

6. プロキシサーバーのポート番号を入力します。

   戻った画面で入力した値が反映されていることを確認してください。

7. ［設定を開始する］をタップします。

8. 設定完了画面を閉じます。

LANに接続する

プリンターを有線LANまたは無線LANに接続します。

関連情報

- 「有線LANで接続する」21ページ
- 「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi)を手動で設定する」22ページ
- 「インストーラーを使ってネットワークに接続する」23ページ

有線LANで接続する

LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（L2スイッチ）をLANケーブルで接続します。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］の順に選択します。

4. ［接続診断］を選択します。

   接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

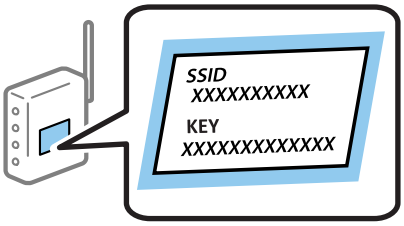
5. ［OK］をタップします。

   ［接続診断結果を印刷する］をタップすると診断結果を印刷できます。画面の案内に従って印刷してください。

操作パネルから無線LAN（Wi-Fi)を手動で設定する

アクセスポイントに接続するための情報をプリンターの操作パネルから手動で設定する方法です。手動で設定するには、アクセスポイントのSSIDとパスワードの情報が必要です。
アクセスポイント（無線LANルーター）がWPSやAOSSに対応していると、SSIDやパスワードを使わずにプッシュボタンやPINコードで無線LAN接続設定することもできます。

参考 アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合はアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



1. ホーム画面で | をタップします。

2. ［ルーター］を選択します。

3. ［設定に進む］をタップします。

   既にネットワーク設定されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は［設定を変更する］をタップします。
   既に有線LAN接続されている場合は［無線LAN接続に変更する］をタップし、メッセージを確認して［はい］をタップします。

4. ［アクセスポイントを検索］を選択します。

5. 接続したいSSIDを選択します。

   参考
   - プリンターの操作パネルに接続したいSSIDが表示されないときは、再検索をタップして一覧を更新してください。それでも表示されないときは、手動入力をタップしてSSIDを直接入力してください。
   - SSIDがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。

6. パスワードを入力します。

   参考
   - パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
   - パスワードがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。パスワードは「パスフレーズ」や「暗号化キー」などとも呼ばれます。
   - SSIDを直接入力した場合は［パスワード］を［あり］にしてからパスワードを入力してください。
   - アクセスポイントのSSIDとパスワードはアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

7. 入力が終わったら［設定を開始する］をタップします。

8. ［OK］をタップして終了します。

参考 接続に失敗した場合はA4サイズの普通紙をセットし、［接続診断結果を印刷する］をタップしてネットワーク接続診断レポートを印刷します。

9. ネットワーク接続設定画面を閉じます。

インストーラーを使ってネットワークに接続する

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから設定
  以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進んで作業を開始します。
  http://epson.sn
- ソフトウェアディスクで設定（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
  ソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

インストーラーの画面の指示に従って操作します。
以下の画面が表示されたら、接続方法を選択して ［次へ］をクリックします。

電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。
以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- キャッチホンなど各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

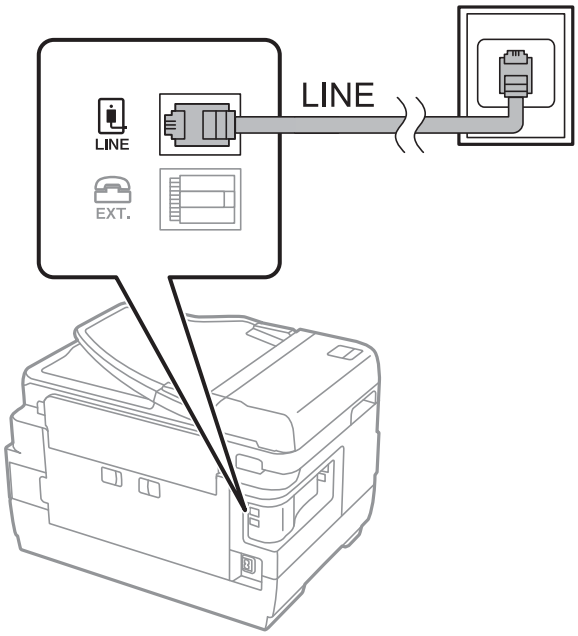
RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

参考　プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

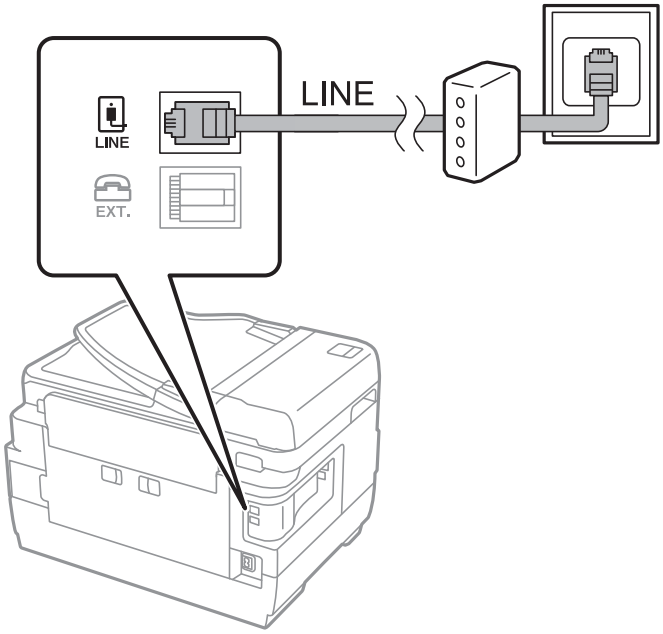
電話回線やPBXポートと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



ADSLまたはISDNに接続する

ADSLモデムまたはISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。

参考　ADSLモデムにスプリッターが内蔵されていないときは、スプリッターを接続してください。



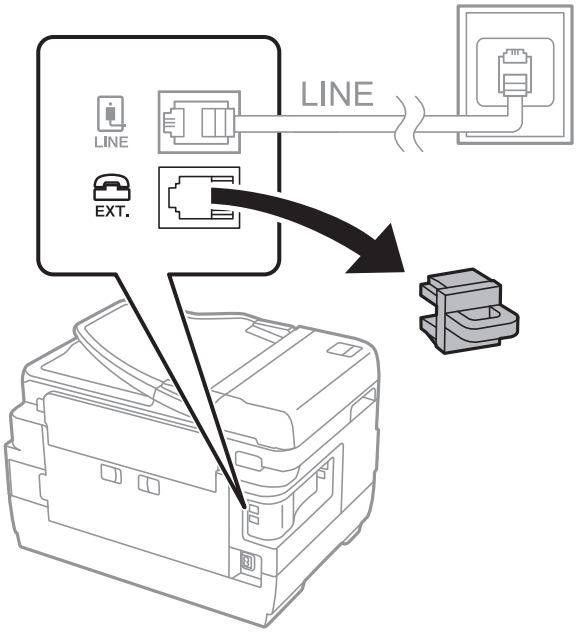
電話機とプリンターを接続する

1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

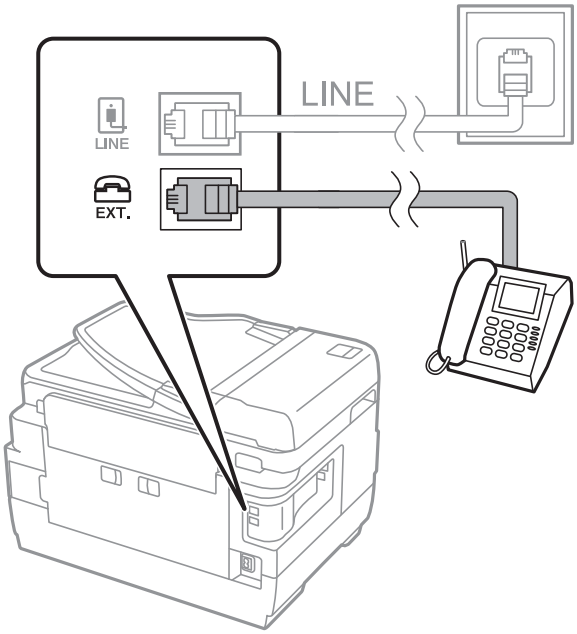
参考

- ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。
- 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの［呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- ナンバーディスプレイ機能を使うときは、プリンターの［ナンバー・ディスプレイ対応］設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。



参考 1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. ホーム画面で［ファクス］を選択します。

4. 受話器を上げます。

以下のように［送信］が有効になれば、接続が成功しています。

関連情報

➡ 「留守番機能付き電話接続時の設定」44ページ

ファクスの基本設定をする

ファクス設定はデバイスを使用する国や地域によって選択できる項目が異なります。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする

画面の指示に従って基本的な設定をします。

1. プリンターを電話回線に接続します。

   参考 最後に接続状態を確認するため、必ずプリンターを電話回線に接続してから始めてください。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］-［ファクス設定］-［ファクス設定ウィザード］の順に選択します。

4. ［確認］画面で、［設定開始］をタップします。

   ウィザードが起動します。

5. 発信元名の入力画面で自局の名前（送信者の会社名など）を入力して、［OK］をタップします。

   参考 発信元名と発信元番号は、送信文書のヘッダー情報になります。

6. 発信元番号の入力画面で自局（送信者）のファクス番号を入力して、［OK］をタップします。

7. ［受信モード設定］画面で、プリンターに電話機を接続して使うかどうかを選択します。

   - 使う：［はい］を選択します。
   - 使わない：［いいえ］を選択します。［受信モード］は［自動］に設定されます。

8. ［受信モード設定］画面で、自動受信するかどうか選択します。

   - 自動受信する：［はい］を選択します。［受信モード］は［ファクス/電話自動切替］に設定されます。
   - 自動受信しない：［いいえ］を選択します。［受信モード］は［手動］に設定されます。

9. ［設定確認］画面で設定内容を確認し、［次へ］をタップします。

   修正するときは←をタップしてください。

10. ［診断開始］を選択して、診断結果を印刷するメッセージが表示されたら［印刷開始］を選択します。

    接続状態を確認できる ファクス機能診断レポート が印刷されます。

    参考
    - レポートにエラーが表示されたら、レポートの指示に従って対処してください。
    - ［接続回線選択］画面が表示されたら接続回線を選択してください。
      ・構内交換機（PBX）やターミナルアダプターに接続しているときは、［構内交換機(PBX)］を選択します。
      ・一般加入電話回線（［一般回線(PSTN)］）に接続しているときは、［確認］画面で［検出しない］を選択します。ただし、［検出しない］にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

関連情報

➡ 「プリンターを電話回線に接続する」24ページ
➡ 「ファクス設定メニューの説明」49ページ

ファクス受信時の給紙装置を設定する

ファクス受信文書やレポートを印刷する際に使用する給紙装置を限定することができます。初期設定は、全ての給紙装置を使用してファクス印刷できるようになっています。特定の給紙装置は使用せずにファクス印刷したいときは、この設定をします。

1. ホーム画面で［設定］をタップします。
2. ［本体設定］-［プリンター設定］-［給紙装置設定］-［給紙口自動選択］-［ファクス］の順にタップします。
3. ファクス印刷で使用したくない給紙装置のボックスをタップします。

   選択した給紙装置の設定は［オフ］に変更され、ファクス印刷で使用できなくなります。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を使う

管理者が許可している場合、Wi-Fi Direct （シンプルAP）機能を使うと、スマートフォンやタブレットなどから、プリンターが接続されているネットワークを経由せずにプリンターに直接接続できます。
スマートフォンやタブレットなどからNFCを使う場合も、Wi-Fi Direct （シンプルAP）を有効にする必要があります。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を有効にする

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［Wi-Fi Direct］を選択します。
2. ［Wi-Fi Direct］を［有効］にします。
3. ［次へ］をクリックします。
4. ［設定］をクリックします。

   ネットワークが再起動されて、Wi-Fi Direct（シンプルAP）が有効になります。

   参考 ［削除］をクリックすると、Wi-Fi Direct（シンプルAP）で接続したデバイスの登録情報を削除できます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

メールサーバーを設定する

メールを使用したスキャン機能を使用する場合などに設定してください。
設定の前に以下を確認してください。

- プリンターがネットワークに接続されていること
- コンピューターのメール設定時に使ったサーバー情報

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［基本］を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. ［設定］を選択します。

   設定結果が表示されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「メールサーバー設定項目」30ページ

メールサーバー設定項目

アイテム	設定値と説明	
認証方式	プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない	メールサーバーとの通信時に認証をしません。
	SMTP認証	メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	［認証方式］に［SMTP認証］または［POP before SMTP］を選択した場合、認証用のアカウント名をASCII（0x20-0x7E）で表せる0～255文字以内で入力します。	
認証用パスワード	［認証方式］に［SMTP認証］または［POP before SMTP］を選択した場合、認証用のパスワードをA-Z a-z 0-9 ! # $ % & ' * + - . /= ? ^ _ { | } ~ @を使用し、0～20文字以内で入力します。	
送信元アドレス	送信元を示すメールアドレスを入力します。: ( ) < > [ ] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E)で表せる0～255文字以内で入力します。ただし、ピリオド（.）は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、0～255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの半角数字を入力します。	
セキュア接続	メールサーバーのセキュア接続方式を指定します。	
	なし	［認証方式］で［POP before SMTP］を選択した場合は［なし］になります。
	SSL/TLS	［認証方式］で［認証しない］または［SMTP認証］を選択したときに選択できます。
	STARTTLS	［認証方式］で［認証しない］または［SMTP認証］を選択したときに選択できます。
証明書の検証	有効にするとメールサーバーの証明書の正当性をチェックします。［有効］にすることをお勧めします。	
POP3サーバーアドレス	［認証方式］に［POP before SMTP］を選択した場合、POP3サーバーアドレスをA～Z a～z 0～9 . - を使用して0～255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	［認証方式］で［POP before SMTP］を選択した場合、1～65535までの数字入力をします。	

関連情報

➡ 「メールサーバーを設定する」30ページ

メールサーバーとの接続を確認する

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［メールサーバー］ - ［接続確認］を選択します。

2. ［確認開始］を選択します。

メールサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「メールサーバー接続確認結果」32ページ

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	原因
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
SMTPサーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • SMTPサーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
POP3サーバーとの通信でエラーが発生しました。以下を確認してください。 ・ネットワーク設定	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • プリンターがネットワークに接続されていない • POP3サーバーがダウンしている • 通信中にネットワークが切断された • 異常なデータを受信した
SMTPサーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 ・SMTPサーバーアドレス ・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • SMTPサーバーアドレスの名前解決に失敗した
POP3サーバーとの接続に問題があります。以下を確認してください。 ・POP3サーバーアドレス ・DNSサーバー	以下のような場合に通信エラーが表示されます。 • DNSサーバーとの接続に失敗した • POP3サーバーアドレスの名前解決に失敗した
SMTPサーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 ・認証方式 ・認証用アカウント ・認証用パスワード	SMTPサーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
POP3サーバーの認証に失敗しました。以下を確認してください。 ・認証方式 ・認証用アカウント ・認証用パスワード	POP3サーバーでの認証処理に失敗したときに表示されます。
サポートしていない通信方式です。以下を確認してください。 ・SMTPサーバーアドレス ・SMTPサーバーポート番号	プリンターがサポートしていないプロトコルで通信しようとした場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をなしに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続（SSL接続）をサポートしていない場合に表示されます。

メッセージ	原因
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSSL/TLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSSL/TLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
SMTPサーバーとの接続に失敗しました。セキュア接続をSTARTTLSに変更してください。	サーバーとクライアントでSMTPセキュア接続の設定が合っていない、またはサーバーがSMTPセキュア接続にSTARTTLS接続することを要求してきている場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 ・日付/時刻	プリンターの日時設定が正しくない、またはサーバーに対応するルート証明書は保有しているが、期限切れの場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。以下を確認してください。 ・相手サーバー検証用CA証明書	サーバーに対応するルート証明書をプリンターが保有していない、または相手サーバー検証用CA証明書がインポートされていない場合に表示されます。
サーバーの安全性が確認できませんでした。	サーバーから取得した証明書が壊れている場合などに表示されます。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をSMTP認証に変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をサポートしているのに、プリンターはSMTP認証を実行していません。
SMTPサーバーの認証に失敗しました。認証方式をPOP before SMTPに変更してください。	サーバーとクライアントで認証方式が一致していない場合に表示されます。サーバーはSMTP認証をしていないのに、プリンターはSMTP認証を実行しようとしています。
送信元アドレスが正しくありません。お使いのメールサービスで取得したアドレスに変更してください。	送信元アドレスの指定が間違っていた場合に表示されます。
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

関連情報

➡ 「メールサーバーとの接続を確認する」31ページ

機能設定編

この章では、デバイスの各機能を使うために始めに設定する部分の説明をしています。

設定に使うソフトウェア

ここではWeb Configを使って、システム管理者のコンピューターから設定する手順を中心に紹介します。

Web Config（デバイスのウェブページ）

Web Configの概要

Web Configはプリンターの設定確認や変更がブラウザー上でできるアプリケーションソフトです。
Web Configを使用するには、予めプリンターにIPアドレスを設定しておく必要があります。

参考　プリンターに管理者パスワードを設定すると、管理者以外が設定を変更できないようにロックできます。

Web Configの起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザーを起動して、プリンターのIPアドレスを入力します。ブラウザーのJavaScriptを有効にしてください。HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザーに警告が表示されます。

- HTTPSアクセス
  IPv4：https://プリンターのIPアドレス
  IPv6：https://[プリンターのIPアドレス]
- HTTPアクセス
  IPv4：http://プリンターのIPアドレス
  IPv6：http://[プリンターのIPアドレス]

記入例

- IPv4:
  https://192.0.2.111/
  http://192.0.2.111/
- IPv6:
  https://[2001:db8::1000:1]/
  http://[2001:db8::1000:1]/

参考　DNSにプリンター名を登録すると、IPアドレスの代わりにプリンター名が使用できます。

関連情報

➡「プリンターとのSSL/TLS通信」85ページ
➡「使用できる電子証明書」85ページ

印刷機能を使う

プリンターの印刷機能を使用できるようにします。

ネットワークで印刷するために必要なこと

ネットワークで印刷するには、以下の対応が必要です。
これらはプリンタードライバーとOSの機能を使って設定します。

- プリンタードライバーのインストール
- コンピューターへのプリントキューの作成
- ネットワーク用のポート設定

サーバークライアント型接続でのプリンタードライバー設定

プリントサーバーのコンピューターから印刷できるように設定してから、プリンターを共有します。

プリントサーバーにはプリントサーバー用とクライアントコンピューター用のプリンタードライバーを一緒にインストールします。
インストーラーを使用すると、プリンターのネットワークやコンピューターとの接続設定、ドライバーのインストールやプリントキューの生成などを自動で行います。

Standard TCP/IPポートを設定する - Windows

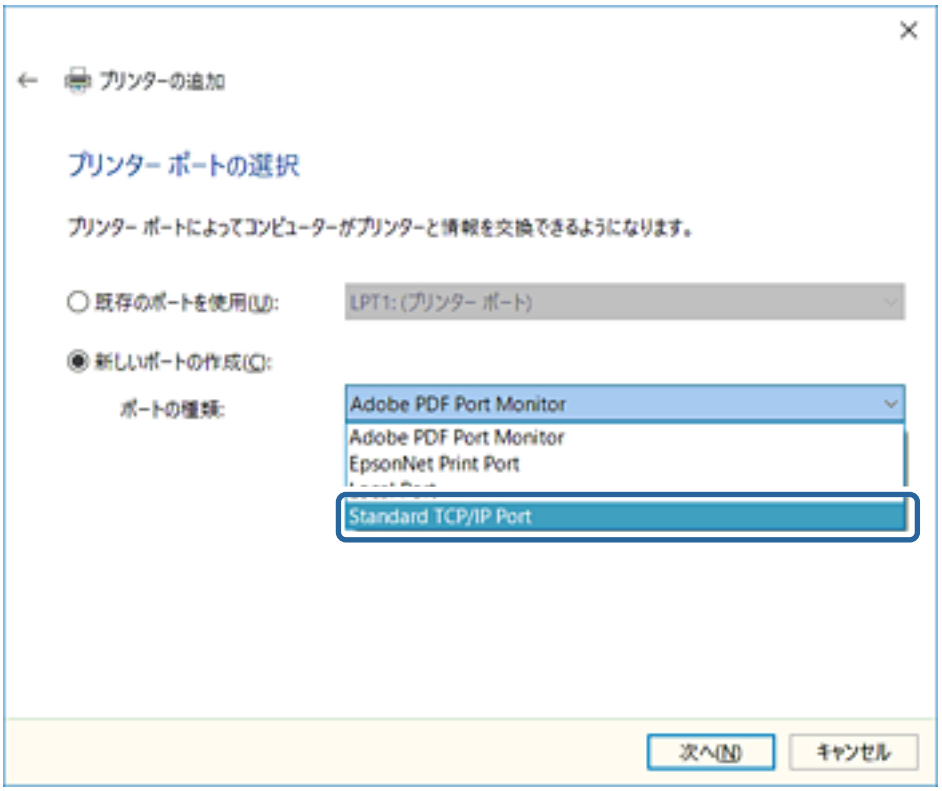
プリントサーバー上でStandard TCP/IPポートを設定して、ネットワーク印刷用のプリントキューを作成します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンを右クリックまたは長押しして、［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）- ［デバイスとプリンター］の順に選択します。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）- ［デバイスとプリンター］の順に選択します。
   - Windows Vista/Windows Server 2008
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］ - ［プリンター］の順に選択します。
   - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］ - ［プリンタとその他のハードウェア］ - ［プリンタとFAX］の順に選択します。
2. プリンターを追加します。
   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［プリンターの追加］をクリックして、表示される画面で［探しているプリンターはこの一覧にはありません］を選択します。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2
     ［プリンターの追加］をクリックします。
   - Windows Vista/Windows Server 2008
     ［プリンタのインストール］をクリックします。
   - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
     ［プリンタのインストール］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。
3. ローカルプリンターを追加します。
   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する］を選択して、［次へ］をクリックします。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Vista/Windows Server 2008
     ［ローカルプリンターを追加します］をクリックします。

- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
  ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択して、表示される画面で［次へ］をクリックします。

4. ［新しいポートの作成］を選択し、ポートの種類から［Standard TCP/IP Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

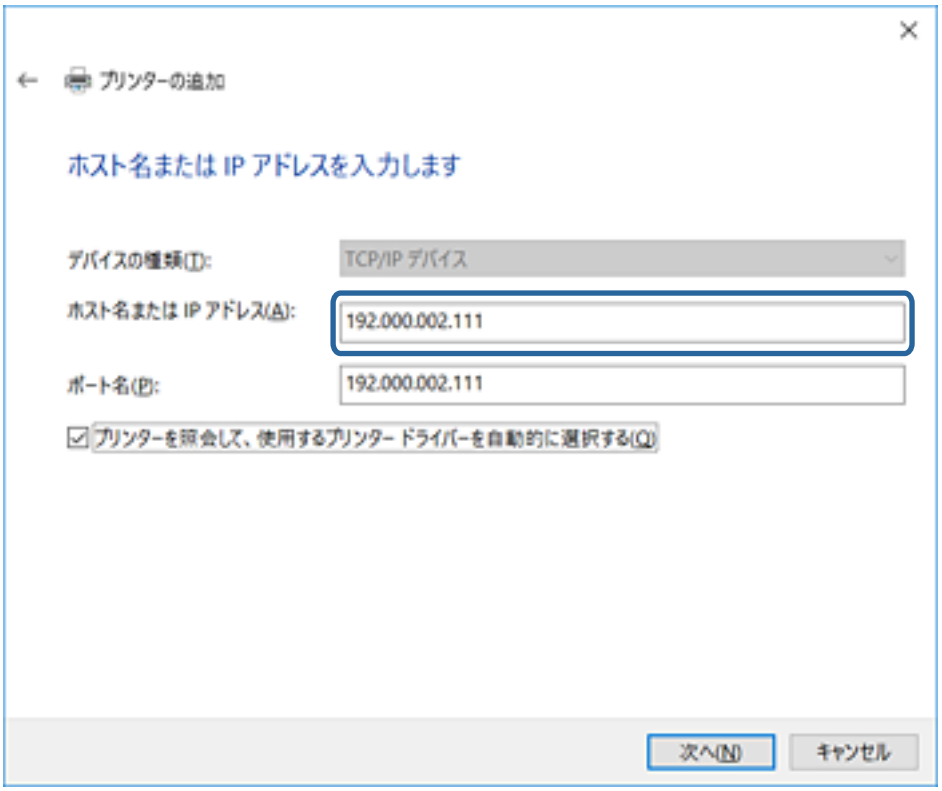
   Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003の場合、続いて表示される［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］で［次へ］をクリックしてください。



5. ［ホスト名またはIP アドレス］（または［プリンタ名またはIP アドレス］）にプリンター名、またはプリンターのIP アドレスを入力して、［次へ］をクリックします。

   ［ポート名］は変更しないでください。
   ［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたときは［続行］をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003の場合、続いて表示される［標準TCP/IPプリンタポート］画面で［完了］をクリックしてください。



参考　名前で検索が可能なネットワークでプリンター名を指定した場合は、DHCPによってプリンターのIPアドレスが変更になっても追従ができます。プリンター名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

6. プリンタードライバーを設定します。

- プリンタードライバーがインストールされている場合
  ［製造元］ - ［プリンター］を選択します。［次へ］をクリックします。
- プリンタードライバーがインストールされていない場合
  ［ディスク使用］をクリックして、プリンターに付属のソフトウェアディスクをセットします。［参照］をクリックして、ディスクドライブのプリンタードライバーが格納されているフォルダーを指定します。正しいフォルダーを指定してください。OS環境により指定するフォルダーが異なります。
  32bit版Windows：WINX86
  64bit版Windows：WINX64

7. この後は、画面の指示に従って操作します。

Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003の場合、以上で終了です。Windows Vista/Windows Server 2008以降の場合、続いてポート構成を確認してください。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

関連情報

➡「プリンターを共有する（Windowsのみ）」39ページ

ポート構成を確認する - Windows

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンを右クリックまたは長押しして、［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     ［デスクトップ］ - ［設定］ - ［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）- ［デバイスとプリンター］の順に選択します。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］（または［ハードウェア］）- ［デバイスとプリンター］の順に選択します。
   - Windows Vista/Windows Server 2008
     スタートボタンをクリックして、［コントロールパネル］ - ［ハードウェアとサウンド］ - ［プリンター］の順に選択します。
2. プリンターのプロパティ画面を開きます。
   - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
     対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プリンターのプロパティ］をクリックします。
   - Windows Vista
     対象プリンターのアイコンを右クリックして、［管理者として実行］ - ［プロパティ］の順に選択します。
   - Windows Server 2008
     対象プリンターのアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
3. ［ポート］タブをクリックし、［標準のTCP/IPポート］を選択して、［ポートの構成］をクリックします。
4. ポートの構成を確認します。
   - RAWの場合
     ［プロトコル］で［Raw］が選択されていることを確認して、［OK］をクリックします。
   - LPRの場合
     ［プロトコル］で［LPR］が選択されていることを確認します。［LPR 設定］の［キュー名］に「PASSTHRU」と入力します。［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックします。

プリンターを共有する（Windowsのみ）

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

1. プリントサーバーのコンピューターで［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。
2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、［プリンターのプロパティ］－［共有］タブを選択します。

3. ［このプリンターを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

   Windows Server 2012をお使いの場合は、［共有オプションの変更］をクリックしてから設定してください。

追加ドライバーをインストールする（Windowsのみ）

プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールしておくことをお勧めします。

1. プリントサーバーのコンピューターで［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンター］の順に選択します。

2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、［プリンターのプロパティ］－［共有］タブを選択します。

3. ［追加ドライバー］をクリックします。

   Windows Server 2012をお使いの場合は、共有オプションの変更をクリックしてから設定してください。

4. クライアントコンピューターのWindowsバージョン（プロセッサータイプ）を選択して、OKをクリックします。

5. プリンタードライバーの情報ファイル（*.inf）を指定してドライバーをインストールします。

関連情報

➡「共有プリンターを使う - Windows」40ページ

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、［デバイスとプリンター］からプリンターを追加する手順を案内してください。
以下は、プリントサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリントサーバーのコンピューター名を［エクスプローラー］で開きます。

2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

関連情報

➡「プリンターを共有する（Windowsのみ）」39ページ
➡「追加ドライバーをインストールする（Windowsのみ）」40ページ

ピアツーピア型接続でのプリンタードライバー設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターを使用するそれぞれのクライアントコンピューターにドライバーをインストールします。

関連情報

➡ 「プリンタードライバーを設定する」41ページ

プリンタードライバーを設定する

小規模なネットワークの場合、それぞれのクライアントコンピューターでプリンタードライバーをインストールすることをお勧めします。エプソンのウェブサイトまたはソフトウェアディスクからインストーラーを起動します。

参考 たくさんのクライアントコンピューターからプリンターを使用する場合は、EpsonNet SetupManagerを使ってドライバーをパッケージして配布すると、インストール作業を大幅に軽減できます。

1. インストーラーを起動します。
   - ウェブサイトから起動する
     以下のウェブサイトにアクセスして、製品名を入力します。［セットアップ］に進み、ソフトウェアをダウンロードして起動します。
     http://epson.sn
   - ソフトウェアディスクから起動する（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合のみ）
     ソフトウェアディスクをコンピューターにセットします。
2. 接続方法を選択して、［次へ］をクリックします。

参考 ［インストールソフトウェア選択］画面が表示されたら、［接続方法の再設定］を選択して［次へ］をクリックしてください。

3. この後は、画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ 「EpsonNet SetupManager」118ページ

スキャン機能を使う

コンピューターからのスキャンやプリンターの操作パネルを使ったスキャン機能を使用できるようにします。

コンピューターからスキャンするには

コンピューターからネットワークを経由したスキャンをするには、ソフトウェアをインストールして、ネットワークスキャンサービスの有効を確認してください。

関連情報

➡ 「インストールするソフトウェア」42ページ
➡ 「ネットワークスキャンサービスの有効を確認する」42ページ

インストールするソフトウェア

- Epson Scan 2
  スキャナードライバーです。コンピューターからスキャンする場合、クライアントコンピューターそれぞれにインストールします。
  EpsonNet SetupManagerを使うと、プリンタードライバーも一緒にパッケージして配布できます。

関連情報

➡ 「EpsonNet SetupManager」118ページ

ネットワークスキャンサービスの有効を確認する

クライアントコンピューターからネットワークでスキャンをするにはネットワークスキャンサービスを設定します。工場出荷時には有効に設定されています。

1. Web Configで［スキャン/コピー］タブ - ［ネットワークスキャン］を選択します。

2. ［EPSON Scan］の［スキャン機能を有効にする］にチェックが入っていることを確認します。

   入っている場合はここで終了です。Web Configを閉じます。
   入っていない場合はチェックを入れ、次の手順に進みます。

3. ［次へ］をクリックします。

4. ［設定］をクリックします。

   ネットワークが再起動し、設定が有効になります。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

操作パネルを使ってスキャンするには

プリンターの操作パネルを使ったスキャン to フォルダー機能やスキャン to メール機能、メールやフォルダーなどへのスキャン結果の転送は、コンピューターからジョブを実行して行います。

関連情報

➡ 「サーバーやフォルダーの設定」43ページ

サーバーやフォルダーの設定

機能名	設定	設定場所	必要なもの
スキャン to フォルダー機能（SMB）	保存フォルダーの作成と共有設定	保存先フォルダーのあるコンピューター	保存フォルダーを作成するコンピューターへの管理者権限ユーザーアカウント
	スキャンtoフォルダー（SMB）の宛先	デバイス本体のアドレス帳	保存フォルダーがあるコンピューターへログオンするためのユーザー名、パスワード、保存フォルダーへの書き込みの権利
スキャン to フォルダー機能（FTP）	FTPサーバーログオン設定	デバイス本体のアドレス帳	保存先FTPサーバーへのログオン情報、保存フォルダーへの書き込みの権利
スキャン to メール機能	メールサーバーの設定	デバイス本体	メールサーバーの設定情報
スキャン to クラウド機能	デバイス本体のEpson Connectへのプリンター登録	デバイス本体	インターネット接続環境
	Epson Connectのアドレス帳登録	Epson Connectサービス	Epson Connectサービスへのプリンター、ユーザー登録

関連情報

➡ 「メールサーバーを設定する」30ページ
➡ 「Epson Connectサービスを使う」73ページ

ファクス機能を使う

プリンターのファクス機能を使用できるようにします。

受信モードを設定する

使用状況に応じて受信モードを設定します。

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［受信モード］で受信方法を選択します。

- ［自動］：ファクス利用が多い場合にお勧めです。設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。
  外付け電話機の留守番電話機能を使うときはこのモードにしてください。
- ［ファクス/電話自動切替］：1つの電話回線でファクスも電話も利用したい方にお勧めです。設定した回数の着信音が鳴り終わると、ファクスか音声通話かをプリンターが自動で判断します。ファクスのときは自動で受信を開始し、音声通話のときは外付け電話機を鳴らします。

！重要 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。

参考 音声通話の呼び出し時に受話器を取らないと、設定した［電話呼び出し回数］を鳴らした後にファクス受信に切り替わります。

- ［手動］：ファクス利用が少ない、または一度電話に出てから受信したい場合にお勧めです。受話器を上げてからプリンター操作で受信を開始します。

！重要 外付け電話機を接続しないときは、必ず［自動］に設定してください。

参考 ［リモート受信］を設定すると、外付け電話機の操作だけでファクス受信ができます。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡「Web Configの起動」35ページ
➡「ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする」28ページ
➡「外付け電話機だけでファクスを受信する（リモート受信）」45ページ

留守番機能付き電話接続時の設定

留守番機能を使用するには以下の設定をしてください。

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［受信モード］を［自動］にします。

3. ［電話呼び出し回数］を留守番電話の呼び出し回数よりも多く設定します。

［電話呼び出し回数］が留守番電話応答の回数よりも少ない設定の場合、留守番電話への録音や通話ができません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。この項目は、留守番電話対応の電話機以外では表示されません。

4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

外付け電話機だけでファクスを受信する（リモート受信）

［リモート受信］を設定すると、外付け電話機の操作だけでファクス受信ができます。［リモート受信］はトーン信号に対応した電話機で使用できます。

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［リモート受信］を［オン］にします。

3. ［起動コード］に2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力します。

   ［起動コード］は、リモート受信したときに外付け電話機に入力して、ファクス受信を開始するためのコードです。

4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

受信文書の処理

受信したファクスは、以下の処理ができます。

- 印刷
- 受信ボックスに保存
- PC-FAXで受信
- 外部メモリーに保存
- 転送

参考 上記をすべて選択した場合、それぞれの宛先に同じ文書が保存、転送されます。 また処理が終了した時にメールで通知を受け取れます。ただし、［印刷］と［受信ボックスに保存］の2つだけの選択はできません。

関連情報

➡ 「文書処理終了時のメール通知を設定する」46ページ
➡ 「受信文書の印刷設定をする」46ページ
➡ 「受信ボックスに保存する設定をする」46ページ
➡ 「PC-FAX受信の設定をする」47ページ
➡ 「外部メモリーの保存設定をする」48ページ
➡ 「受信文書の転送設定をする」48ページ

文書処理終了時のメール通知を設定する

受信文書の処理が完了したときに、メールで通知ができます。
通知先はアドレス帳に登録してある必要があります。
また、メールサーバーが設定されている必要があります。

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［受信ファクスの処理］を選択します。
2. ［メール通知設定］で文書処理終了時にメー ル通知したい項目にチェックを入れます。
3. ［送信先］の［アドレス帳から選択］をクリックします。
4. 通知する宛先を選択します。
5. ［選択］をクリックして、宛先を決定します。
6. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「メールサーバーを設定する」30ページ

受信文書の印刷設定をする

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［受信ファクスの処理］を選択します。
2. ［印刷］を選択します。
3. ［印刷設定］で必要に応じて印刷設定をします。
4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

受信ボックスに保存する設定をする

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［受信ファクスの処理］を選択します。
2. ［受信ボックスに保存］を選択します。
3. ［設定］をクリックします。
4. ［受信設定］ - ［受信ボックス］の順に選択します。
   ボックスパスワードが設定されている場合、パスワードを入力して設定画面を開きます。

5. 受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。
   - ［ファクスを受信しない］：相手側からの呼び出しに応答しません。
   - ［ファクスを受信して印刷する］：受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
6. 設定をパスワードで保護する場合は、［パスワードを変更する］にチェックを入れ、ボックスパスワー ドを設定します。
7. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡「Web Configの起動」35ページ

PC-FAX受信の設定をする

PC-FAX受信をするためには、コンピューターにプリンタードライバーとFAX Utilityを入れる必要があります。インストーラーを使ってプリンターをセットアップする場合は一緒にインストールされます。個別にインストールが必要な場合は、ソフトウェアディスク、または、エプソンのWebサイトからダウンロードしてください。
受信した文書をPDFに変換して、プリンターに接続されているコンピューターに保存します。保存と同時に印刷することもできます。

！重要
- プリンターの受信モードを［自動］に設定してください。
- コンピューターに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、保存先のコンピューターは常時起動しておいてください。一時保存の文書件数はファクスモードアイコンに表示されます。

1. プリンターに接続しているコンピューターでFAX Utilityを起動します。
2. FAX Utilityの設定画面を開きます。
   - Windows
     ［プリンターのファクス設定］ - ［受信ファクスの出力設定］の順に選択します。
   - Mac OS
     ［ファクス受信モニター］をクリックし、お使いのプリンターを選択して、［受信ファクスの出力設定］をクリックします。
3. ［このコンピューターで保存する］をクリックして、保存先フォルダーの指定をします。
4. 必要に応じてその他の設定をし、設定内容をプリンターに送信します。

   参考　設定項目の説明や詳細な手順についてはFAX Utilityのヘルプをご覧ください。
5. プリンターの操作パネルで［設定］をタップします。
6. ［本体設定］ - ［ファクス設定］ - ［受信設定］の順にタップします。
7. ［保存・転送設定］ - ［条件なし保存・転送］の順にタップします。

8. 現在の設定が表示されます。コンピューターに保存する設定（PC-FAXで受信）になっていることを確認します。

9. コンピューターへの保存と同時に自動で印刷をしたいときは、［PC-FAXで受信］をタップして［オン(印刷もする)］をタップします。

参考 コンピューターへの保存をやめるときは、プリンターの操作パネルで［PC-FAXで受信］を［オフ］にします。またはWeb Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［受信ファクスの処理］の順に選択し、［PC-FAXで受信］のチェックを外して［設定］をクリックします。

外部メモリーの保存設定をする

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［受信ファクスの処理］を選択します。

2. ［外部メモリーに保存］を選択します。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

受信文書の転送設定をする

転送先はアドレス帳に登録してある必要があります。

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［受信ファクスの処理］を選択します。

2. ［転送］を選択します。

3. ［転送先］の［アドレス帳から選択］をクリックします。

4. 転送する宛先を選択します。

   5件まで設定できます。

5. ［選択］をクリックします。

6. ［転送失敗時の保存先］で転送に失敗したときの処理方法を設定します。

7. ［Eメール転送時の件名］に文書を添付するメールの件名を入力します。

   ASCII文字で表せる50文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

8. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

ファクス設定メニューの説明

Web Configの［ファクス］タブで、ファクスに関する詳細な設定ができます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

送信設定

基本

項目	説明
PC-FAX送信機能	PC-FAXを使った送信を使用するかどうか設定します。
回転送信	ADFまたは原稿台に、A4サイズの原稿の長辺を左側にして縦置きにセットすると、通常はA3サイズの文書として送信されます。この設定を有効にすると、A4サイズの文書になるように回転させて送信できます。
バッチ送信	宛先が同じ複数の予約文書を自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が節約できます。
送信失敗文書保存	送信に失敗した文書をメモリーに保存します。
自動リダイヤル回数	話し中やエラー時のリダイヤルの回数を選択します。
自動リダイヤル間隔	次のリダイヤルまでの時間を選択します。
発信元名	発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。発信元名はUnicode（UTF-8）で表せる40文字以内で入力できます。指定しない場合は空白にします。
その他の発信元名	送信文書のヘッダーに表示する発信元名を追加できます。ここで設定した発信元名はファクス送信時に選択できます。Unicode (UTF-8)で表せる40文字以内で入力し、20件まで登録できます。
発信元番号	発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。0～9 + または半角スペースを使用し、30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

待機文書送信ボックス

メニューを選択するとボックスの編集画面に移行します。ボックスにパスワードが設定されていて、管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワード入力画面に移行します。管理者パスワードが設定されている場合は、ボックスのパスワード設定に関わらず編集画面に移行します。

項目	説明
パスワードを変更する	ボックスパスワードを変更するかを選択します。
ボックスパスワード	ボックスパスワードを設定します。ASCII文字（0x20-0x7E）で表せる20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のためにパスワードを再入力します。

ポーリング送信ボックス

項目	説明
パスワードを変更する	ボックスパスワードを変更するかを選択します。
ボックスパスワード	ボックスパスワードを設定します。ASCII文字（0x20-0x7E）で表せる20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のためにパスワードを再入力します。
ポーリング送信後自動削除	ポーリング送信後に送信文書を削除するか選択します。
送信結果メール通知	ポーリング送信後にメール通知するか選択します。
送信先	メール通知の宛先を設定します。

掲示板ボックス （トップ画面）

項目	説明
番号	ボックスのインデックス番号です。
登録名	ボックスの名称です。
編集	ボックスを選択して［編集］をクリックするとボックスの編集画面に移行します。 ボックスにパスワードが設定されていて、管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワード入力画面に移行します。管理者パスワードが設定されている場合は、ボックスのパスワード設定に関わらず編集画面に移行します。

掲示板ボックス （編集画面）

項目	説明
番号	ボックスのインデックス番号です。
登録名	ボックスの名称を入力します。制御文字を除くUnicodeで表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。全角文字、半角文字共に1文字としてカウントされます。
パスワードを変更する	ボックスパスワードを変更するかを選択します。
ボックスパスワード	ボックスパスワードを設定します。ASCII文字（0x20-0x7E）で表せる20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のためにパスワードを再入力します。
Fコード(SEP)	ボックスのFコードを設定します。0～9 * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード(PWD)	Fコードのパスワードを設定します。0～9 * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
ポーリング送信後自動削除	ポーリング送信後に送信文書を削除するか選択します。
送信結果メール通知	ポーリング送信後にメール通知するか選択します。
送信先	メール通知の宛先を設定します。

受信設定

基本

項目	説明
受信モード	受信モードを選択します。
呼び出し回数	着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。
電話呼び出し回数	［受信モード］が［ファクス/電話自動切替］になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。
ナンバーディスプレイ対応	ナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。 詳しくは、ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定を説明しているページをご覧ください。
リモート受信	外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。 リモート受信を使うかどうかを設定します。
起動コード	［リモート受信］の開始コードを設定します。0～9 * #を使用し、2文字で入力します。

受信ファクスの処理

項目		説明
処理方法		受信文書をどのように処理するかを設定します。複数選択した場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存され、転送先に同じ文書が転送されます。 ただし、［印刷］と［受信ボックスに保存］の2つだけの選択はできません。
	印刷	受信文書を印刷します。
	受信ボックスに保存	受信した文書をプリンターの受信ボックスに最大で100件保存できます。この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。
	PC-FAXで受信	受信した文書をPDFに変換して、プリンターに接続されているコンピューターに保存します。保存と同時に印刷もできます。 設定はFAX Utilityでします。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしておいてください。
	外部メモリーに保存	受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。保存と同時に印刷もできます。
	転送	受信した文書を他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また、転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。
印刷設定		受信した文書を印刷する場合の印刷設定です。

項目		説明
	自動縮小印刷	受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙サイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると、縮小されずに複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。
	自動回転印刷	A5、B5、A4、Letterサイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転させて最適なサイズの用紙に印刷します。
	分割時の重ねあわせ	分割印刷の場合、重ね合わせて印刷するかを設定します。有効にした場合、重ねる量を1～15で入力します。
	分割後の印刷破棄	分割印刷の場合、画像の先端または後端を破棄するかを設定します。有効にした場合、破棄する量を1～30で入力します。
	受信情報の付加	受信ファクスに受信情報を印字するかを選択します。
	正順出力	受信文書を最後のページから印刷して、正しいページ順に並べます。受信用メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。
	両面印刷	受信文書の印刷で両面印刷を使用するか選択します。
	開き方向(出力)	両面印刷時のとじ方向を選択します。
	印刷開始設定	受信文書を印刷するタイミングを選択します。
	印刷停止時間の設定	指定の時間帯に受信した文書を印刷せずにメモリーに保存します。再開時刻になると自動で印刷されます。夜間の騒音防止や不在時の機密漏洩防止などに活用できます。
	停止する時刻	受信した文書の印刷を停止する時刻を設定します。
	再開する時刻	受信した文書の印刷を開始する時刻を設定します。
	動作音低減モード	動作音低減モードの有効、無効を設定します。
転送設定		受信文書の転送に関する設定をします。
	転送先	［アドレス帳から選択］をクリックして受信文書の転送先を選択します。5件まで選択できます。
	転送失敗時の保存先	受信文書の転送に失敗した場合の動作を選択します。
	Eメール転送時の件名	受信文書の転送先がメールの場合に使用されるメールの件名を、制御文字を除くASCII文字で表せる50文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
メール通知設定		受信文書の処理が終了した場合、メールで通知するか設定します。

項目		説明
	受信	ファクスを受信したときに通知します。
	印刷	受信文書の印刷が終了したときに通知します。
	外部メモリーに保存	外部メモリーに受信文書の保存が終了したときに通知します。
	転送	受信文書の転送が終了したときに通知します。
	送信先	処理終了メールの通知先を設定します。［アドレス帳から選択］をクリックしてアドレス帳から選択します。

条件出力設定 （トップ画面）

項目	説明
番号	ボックスのインデックス番号です。
登録名	ボックスの名称です。
編集	ボックスを選択して［編集］をクリックするとボックスの編集画面に移行します。
削除	選択したボックスを削除します。

条件出力設定 （編集画面）

項目	説明
この条件出力設定を有効にする	設定してある条件ボックスを有効にします。
番号	条件出力のインデックス番号です。
登録名	ボックスの名称を入力します。制御文字を除くUnicodeで表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。全角文字、半角文字共に1文字としてカウントされます。
条件	受信文書を振り分ける条件を設定します。

項目		説明
	相手先番号	送信元の電話番号を条件として設定します。一致させる条件を選択し電話番号を入力します。 電話番号は0～9 + * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	Fコード(SUB)	Fコードを条件として設定します。［完全一致］を選択した場合、照合するFコードを入力します。 Fコードは0～9 + * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	パスワード(SID)	Fコードのパスワードを条件として設定します。［完全一致］を選択した場合、照合するパスワードを入力します。 パスワードは0～9 + * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
	受信時間の設定	条件を適用する時間を指定する場合に設定します。設定時間外は条件設定が無効の場合と同等になり、条件出力は適用されません。
	適用開始時刻	条件を適用する開始時刻を設定します。
	適用終了時刻	条件を適用する終了時刻を設定します。
処理方法		条件に合致した場合の処理方法を設定します。
	印刷	条件に合致した受信文書を印刷する場合にチェックを入れます。
	ボックスに保存	条件に合致した受信文書を受信ボックスや親展ボックスに保存する場合にチェックを入れます。 ［受信ボックス］、［親展ボックス］の名称を、プルダウンメニューから選択します。
	外部メモリーに保存	条件に合致した受信文書を外部メモリーに保存する場合にチェックを入れます。
	転送	条件に合致した受信文書を転送する場合にチェックを入れます。［アドレス帳から選択］をクリックして、転送先をアドレス帳から選択します。
	転送失敗時の動作	条件処理が失敗した場合の動作を選択します。
メール通知設定		条件出力が終了した場合、メールで通知するか設定します。
	受信	受信または親展ボックスに受信文書を保存したときに通知します。
	印刷	受信文書の印刷が終了したときに通知します。
	外部メモリーに保存	外部メモリーに受信文書の保存が終了したときに通知します。
	転送	受信文書の転送が終了したときに通知します。
	送信先	処理終了メールの通知先を設定します。［アドレス帳から選択］をクリックしてアドレス帳から選択します。
レポート設定		条件出力のレポートを設定します。
	結果レポート印刷	条件出力結果レポートの出力条件を選択します。

迷惑ファクス防止設定

項目		説明
着信拒否		相手先の番号から着信拒否する設定をします。 この機能はナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。
	拒否番号リスト	相手先が拒否番号リストにある場合に、着信を拒否するか設定します。
	非通知	相手先が非通知の場合に、着信を拒否するか設定します。
ファクス受信拒否		相手先の番号からファクスを受信拒否する設定をします。
	拒否番号リスト	相手先が拒否番号リストにある場合に、ファクス受信を拒否するか設定します。
	非通知	相手先が非通知の場合に、ファクス受信を拒否するか設定します。
	アドレス帳未登録	相手先がアドレス帳に登録されていない場合に、ファクス受信を拒否するか設定します。
拒否番号リスト		着信やファクス受信を拒否する相手先番号を登録します。30件まで登録できます。 相手先番号は0～9 * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力して［追加］をクリックします。 ［着信履歴から追加］からも登録できます。 登録した番号を削除するには、対象を選択して［削除］をクリックします。 登録した相手先番号は、ページの［設定］をクリックして反映されます。

受信ボックス

メニューを選択するとボックスの編集画面に移行します。ボックスにパスワードが設定されていて、管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワード入力画面に移行します。管理者パスワードが設定されている場合は、ボックスのパスワード設定に関わらず編集画面に移行します。

項目	説明
パスワードを変更する	ボックスパスワードを変更するかを選択します。
ボックスパスワード	ボックスパスワードを設定します。ASCII文字（0x20-0x7E）で表せる20字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のためにパスワードを再入力します。
容量限界時の動作	ボックスの容量が限界になったときの動作を設定します。

親展ボックス （編集画面）

メニューを選択するとボックスの編集画面に移行します。ボックスにパスワードが設定されていて、管理者パスワードが設定されていない場合は、パスワード入力画面に移行します。管理者パスワードが設定されている場合は、ボックスのパスワード設定に関わらず編集画面に移行します。

項目	説明
番号	ボックスのインデックス番号です。
登録名	ボックスの名称を入力します。制御文字を除くUnicodeで表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。全角文字、半角文字共に1文字としてカウントされます。
パスワードを変更する	ボックスパスワードを変更するかを選択します。

項目	説明
ボックスパスワード	ボックスパスワードを設定します。ASCII文字（0x20-0x7E）で表せる20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード確認入力	確認のためにパスワードを再入力します。

レポート設定

項目	説明
転送結果レポート	受信文書が転送されたときにレポートを印刷するかどうかを設定します。
バックアップエラーレポート	ファクス送信後の自動バックアップに失敗したときのレポートを印刷するかどうかを設定します。
通信管理レポート自動印刷	通信管理レポートを自動で印刷するかどうかを設定します。［オン(30件毎)］を選択すると、通信履歴が30件に達したときに印刷されます。［オン(指定時刻)］を選択すると指定の時刻に印刷されます。通信履歴が30件に達したときは、指定時刻の前でも印刷されます。 ［オン(指定時刻)］を選択した場合は、印刷する時刻も設定します。
結果レポート内画像添付	［通信結果レポート］に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷するかどうかを設定します。［添付する(画像大)］を選択すると、ページの一部（冒頭部分）を縮小せずに印刷します。［添付する(画像小)］を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。
レポート形式	通信管理レポート、通信結果レポートの表示形式の設定をします。［詳細情報］にするとエラーコードが表示されます。
レポート出力先	レポートの出力先を選択します。
転送先 (レポート出力先が[転送]の場合)	レポートの出力先が［転送］に設定されている場合の転送先を選択します。［アドレス帳から選択］をクリックして転送先をアドレス帳から選択します。

回線設定

項目	説明
接続回線	プリンターを接続した回線を選択します。内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、［構内交換機(PBX)］を選択して外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#を入力します。ADSLモデムやターミナルアダプターなどを使用している環境でも［構内交換機(PBX)］に設定することをお勧めします。
外線発信番号	外線発信番号を使用するかどうか設定します。［構内交換機(PBX)］を使用している場合など外線に発信するために外線発信番号が必要なときに登録します。 有効にした場合は、発信時に付加する番号を0～9 * # を使用し、4文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
ダイヤル種別	接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。［ダイヤル(10PPS)］に設定しているときに、ファクス番号入力画面で*を押すと「T」と入力され、そこから一時的にトーン信号に切り替えられます。

項目	説明
ファクス通信モード	通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときやIP電話環境で通信するときは［9.6kbps(G3)］をお勧めします。
エラー訂正(ECM)	回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します（ECM機能）。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。
ダイヤルトーン検出	ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。構内交換機(PBX)やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は［接続回線］を［構内交換機(PBX)］にしてください。それでも接続できないときは、本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、 誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

セキュリティー設定

項目	説明
直接ダイヤル制限	この設定を有効にするとファクス番号の直接入力ができなくなるため、宛先はアドレス帳か送信履歴から選択します。［2回入力］を選択すると、ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要になり、 誤送信のリスクを軽減できます。
宛先一覧確認	送信開始前に宛先確認画面を表示します。
バックアップデータ自動消去	停電や誤操作による電源オフに備えて、送受信文書のバックアップデータがメモリー内に一時保存されています。この設定を有効にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になったときに、自動でバックアップデータが消去されます。

PC-FAX機能を使う

ネットワークまたはUSBで接続しているクライアントコンピューターへFAX Utilityをインストールすると、ファクスの送受信ができます。
以下の設定が必要です。

1. Web Configで［ファクス］タブ - ［送信設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［PC-FAX送信機能］を［使用する］にします。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

アドレス帳を使う

宛先設定の概要

スキャンやファクスの宛先にプリンターのアドレス帳やLDAPサーバーの情報が利用できます。

参考
- お使いのプリンターが対応しているかどうかは、プリンターのマニュアルをご覧ください。
- プリンターのアドレス帳とLDAP検索は、プリンターの操作パネルで切り替えます。
- メール送信機能を使うには、メールサーバーの設定が必要です。

関連情報

➡ 「アドレス帳の設定」58ページ
➡ 「LDAPサーバーと利用者を連携する」63ページ
➡ 「メールサーバーを設定する」30ページ

アドレス帳の設定

アドレス帳に登録できる宛先の種類は以下です。

- ［ファクス］：ファクスの宛先です。
- ［メール］：メールの宛先です。
- ［ネットワークフォルダー (SMB)］、［FTP］：スキャンデータやファクス転送ファイルの保存先です。

設定ツールによる宛先設定機能差

アドレス帳の宛先は、Web ConfigやEpsonNet Config、プリンターの操作パネルから設定できます。ただし、設定できる項目が異なります。EpsonNet Configからの設定は、Web Configを呼び出して設定するため、Web Configと同じ設定ができます。

機能	Web Config	操作パネル
宛先登録	○	○
宛先編集	○	○
グループ登録	○	○
グループ編集	○	○
宛先やグループの削除	○	○
宛先の一括削除	○	-
宛先やグループのコピー	-	-
ファイルのインポート	○	-

機能	Web Config	操作パネル
ファイルへエクスポート	○	-
常用の指定	○	○
常用の並べ替え	-	○

参考 ファクスの宛先はFAX Utilityからも設定できます。

宛先を登録する

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ、または［ファクス］ タブから［アドレス帳］を選択します。
2. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。
3. 設定したい宛先の［登録名］と［検索名］を入力します。
4. 設定したい宛先の［種別］を選択します。

   参考 登録後は［種別］を変更できません。登録後に種別の変更をしたい場合は、宛先を削除して再登録してください。

5. 各項目を設定して、［適用］をクリックします。

関連情報

➡「Web Configの起動」35ページ
➡「宛先の設定項目」60ページ
➡「アドレス帳のバックアップ」68ページ

宛先の設定項目

アイテム	設定値と説明
共通	
登録名	アドレス帳に表示する名称をUnicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
検索名	検索に使われる名称をUnicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
種別	登録するアドレスの種別を選択します。
常用指定	チェックを付けると登録したアドレスを常用にします。 常用に設定すると、ファクスやスキャンのトップ画面に表示され、アドレス帳を開かなくても宛先を指定できます。
ファクス	
ファクス番号	0～9 - * # または半角スペースを使用し、1～64文字以内で入力します。
ファクス通信モード	宛先に応じたファクス通信速度を選択します。
Fコード(SUB/SEP)	ボックスのFコードを設定します。0～9 * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

アイテム	設定値と説明
パスワード(SID/PWD)	Fコードのパスワードを設定します。0〜9 * # または半角スペースを使用し、20文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
メール	
メールアドレス	A〜Z a〜z 0〜9 ! # $ % & ' * + - . / = ? ^ _ { ¦ } ~ @を使用し、255文字以内の半角で入力します。# $ % & ' * + - ./ = ?^ _ { ¦ } ~ @.
ネットワークフォルダー (SMB)	
保存先	￥￥"フォルダーパス" 保存先フォルダーにする位置を"¥¥"を除いて、Unicode（UTF-8）で表せる1〜253文字以内で入力します。 ブラウザーによっては、円マークがバックスラッシュで表示されることがあります。
ユーザー名	ネットワークフォルダーにアクセスするためのユーザー名をUnicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00〜0x1f、0x7F）を除きます。
パスワード	ネットワークフォルダーにアクセスするためのパスワードをUnicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00〜0x1f、0x7F）を除きます。
FTP	
保存先	ftp://"ホスト名"/"フォルダーパス"　（ASCII（0X20-0X7E）で表せる1〜253文字以内で入力します。ftp://は入力不要です。）
ユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名をUnicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00〜0x1f、0x7F）を除きます。匿名による接続を認めているサーバーではFTPやAnonymousなどを入力します。指定しない場合は空白にします。
パスワード	FTPサーバーにアクセスするためのパスワードをUnicode（UTF-8）で表せる20文字以内で入力します。ただし、制御文字（0x00〜0x1f、0x7F）を除きます。指定しない場合は空白にします。
接続モード	メニューから接続モードを選択します。プリンターとFTPの間にファイアウォールがある場合は、［パッシブモード］を選択します。
ポート番号	FTPサーバーのポート番号を1〜65535以内の数字で入力します。

関連情報

➡ 「宛先を登録する」59ページ

宛先をグループに登録する

種別が［ファクス］や［メール］の場合、複数の宛先をまとめてグループとして登録できます。

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ、または［ファクス］ タブから［アドレス帳］を選択します。

2. 登録したい番号を選択して［編集］をクリックします。

3. ［種別］から登録したいグループを選択します。

4. ［グループに入れる宛先］の［選択］をクリックします。

   登録できる宛先が一覧表示されます。

5. グループに登録したいデータを選択して［選択］をクリックします。

6. ［登録名］と［検索名］を入力します。

7. 登録するグループを常用にするかどうかを選択します。

   参考　宛先は、複数のグループに登録できます。

8. ［適用］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「アドレス帳のバックアップ」68ページ

LDAPサーバーと利用者を連携する

LDAPサーバーと連携すると、メールやファクスの宛先をLDAPサーバー上のアドレス帳から検索して指定できます。

関連情報

➡ 「LDAPサーバーを設定する」63ページ

LDAPサーバーを設定する

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［基本］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］を選択します。

   設定結果が表示されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「LDAPサーバー設定項目」64ページ

LDAPサーバー設定項目

アイテム	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	［使用する］または［使用しない］を選択します。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
LDAPサーバーポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	LDAPサーバーとの接続時の暗号化方式を選択します。
証明書の検証	LDAPサーバーとの接続時に証明書を検証するかどうか設定します。
検索タイムアウト（秒）	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を5～300までの半角数字で入力します。
認証方式	認証方式を選択します。 ［Kerberos認証］を選択する場合は、［LDAPサーバー］ - ［Kerberos設定］を選択し、Kerberos設定をしてください。
使用するKerberosレルム	［認証方式］で［Kerberos認証］を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。

アイテム	設定値と説明
ユーザー名	Unicode（UTF-8)で表せる128文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode（UTF-8)で表せる128文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字（0x00～0x1F、0X7F）は使用できません。この項目は［認証方式］を［Anonymous認証］にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

関連情報

➡ 「LDAPサーバーを設定する」63ページ
➡ 「Kerberos設定」65ページ

Kerberos設定

［LDAPサーバー］ - ［基本］の［認証方式］で［Kerberos認証］を選択する場合は、［ネットワーク］タブ - ［Kerberos設定］から、以下のKerberos設定をしてください。Kerberos設定は10個まで設定できます。

アイテム	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII (255x20-0x7E)で表せる255文字以内で指定します。指定しない場合は空白にします。
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で255文字以内で指定します。指定しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

LDAPサーバーの検索属性を設定する

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［検索設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

   設定結果が表示されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「LDAPサーバー検索設定項目」66ページ

LDAPサーバー検索設定項目

アイテム	設定値と説明
検索開始位置(DN)	データベースの任意の領域など、特定の場所から検索するときに指定します。 Unicode（UTF-8）で表せる0～128文字以内で入力します。任意の属性で検索しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
検索件数上限数（5-500）	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	登録名として検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、uid
ユーザー表示名属性	表示名として表示する属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、sn

アイテム	設定値と説明
ファクス番号属性	ファクス番号の検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：facsimileTelephoneNumber
メールアドレス属性	メールアドレスを検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail
任意情報属性1～任意情報属性4	LDAPサーバーにエントリーしている他の任意属性を指定します。0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。任意属性でのデータ取得を行わない場合は空白にします。 設定例：o、ou

関連情報

➡ 「LDAPサーバーの検索属性を設定する」65ページ

LDAPサーバーとの接続を確認する

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［LDAPサーバー］ - ［接続確認］を選択します。

2. ［確認開始］を選択します。

   LDAPサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「LDAPサーバー接続確認結果」67ページ

LDAPサーバー接続確認結果

メッセージ	説明
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
接続に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 • LDAPサーバーアドレス、ポート番号などが間違っている • 通信タイムアウトが発生した • ［LDAPサーバーを使用する］が［使用しない］設定になっている • ［認証方式］に［Kerberos認証］を選択した場合に、Kerberos設定の［レルム(ドメイン)］、［KDCアドレス］、［ポート番号(Kerberos)］の設定が間違っている
接続に失敗しました。 製品、またはサーバーの日付/時刻設定を確認してください。	プリンターとLDAPサーバーの時刻設定の不一致によって接続に失敗した場合に表示されます。

メッセージ	説明
サーバーの認証に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 • ［ユーザー名］または［パスワード］が間違っている • ［認証方式］に［Kerberos認証］が選択されているとき、時刻設定されていない
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

関連情報

➡ 「LDAPサーバーとの接続を確認する」67ページ

アドレス帳のバックアップ

Web Configでアドレス帳をエクスポートすることで、アドレス帳を別のプリンターにコピーできます。

アドレス帳をエクスポートする

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［エクスポート］を選択します。
2. ［アドレス帳］を選択します。
3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。

   ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。
4. ［エクスポート］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

アドレス帳をインポートする

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［インポート］を選択します。
2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
3. ［次へ］をクリックします。
4. ［アドレス帳］を選択して［次へ］を選択します。

5. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

システムの詳細を設定する

操作パネルの動作を設定する

プリンターの操作パネルに関する設定をします。以下の設定ができます。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［パネル］を選択します。

2. 必要に応じて以下の項目を設定します。

- 表示言語
  操作パネルの表示言語を選択します。
- パネルロック
  ［オン］にすると、操作パネルでシステム管理者権限が必要な操作を行う場合に管理者パスワードの入力を求められます。管理者パスワードを設定していないとパネルロックは無効になります。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

無操作時の省電力設定をする

プリンターの操作パネルが一定時間操作されなかった場合に、節電モードへ移行する時間と自動で電源を切る時間を設定できます。使用する環境に合わせて時間を設定してください。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［省電力］を選択します。

2. ［節電移行時間］に操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［スリープ移行時間設定］

3. ［自動電源オフ時間］に電源が切れるまでの時間を選択します。ファクスを使用している場合は、［なし］を選択します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。
［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［自動電源オフ］

4. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

音の設定をする

パネル操作やプリンター、ファクスの動作時の音に関する設定をします。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［音の設定］を選択します。

2. 必要に応じて以下の項目を設定します。

   - 通常時
     ［通常時］の音を設定します。
   - 動作音低減モード時
     ［動作音低減モード］の音を設定します。
     以下のいずれかがオンになっている場合に有効です。

     - プリンターの操作パネル：
       ［設定］ - ［本体設定］ - ［プリンター設定］ - ［動作音低減モード］
       ［設定］ - ［本体設定］ - ［ファクス設定］ - ［受信設定］ - ［印刷設定］ - ［動作音低減モード］.
     - Web Config：
       ［ファクス］タブ - ［受信設定］ - ［受信ファクスの処理］ - ［動作音低減モード］

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

タイムサーバーと日付/時刻を同期する

CA証明書を使っている場合は連携すると時間に関するトラブルを防げます。
印刷枚数で課金されるシステムでプリンターを使用している場合は、システムが時間を管理しているので、タイムサーバーと連携する必要はありません。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［日付/時刻］ - ［タイムサーバー］を選択します。

2. ［タイムサーバーを使用する］を［使用する］にします。

3. ［タイムサーバーアドレス］にタイムサーバーのアドレスを入力します。

   IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。252文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。

4. ［更新間隔（分）］を入力します。

   1分単位で10,800分まで設定できます。

5. ［設定］をクリックします。

参考 ［タイムサーバーステータス］でサーバーとの接続状態を確認できます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

スキャン、コピーの標準値を設定する（ユーザーデフォルト設定）

機能ごとに標準値を設定できます。
標準値を設定できるのは以下の機能です。

- スキャン to フォルダー 機能
- スキャン to メール 機能
- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- コピー
- ファクス

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ - ［ユーザーデフォルト設定］から標準値を設定する機能を選択します。
   ファクスのユーザーデフォルト設定は［ファクス］タブ - ［ユーザーデフォルト設定］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［設定］をクリックします。

   無効な組み合わせの設定値があった場合は、設定可能な組み合わせに自動修正された値が表示されます。修正された値を確認して再度［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

よく使う設定をお気に入りに登録する

スキャン、コピー、ファクス機能などの設定を保存できます。あらかじめそれぞれの機能が使用できるよう設定してから登録してください。
設定を保存できる機能は以下の通りです。

- スキャン to フォルダー 機能
- スキャン to メール 機能
- スキャン to 外部メモリー 機能
- スキャン to クラウド 機能
- スキャン to Event Manager 機能
- コピー

- ファクス

1. Web Configの［スキャン/コピー］タブ、または［ファクス］ タブから［お気に入り］を選択します。

2. 登録する番号を選択し［編集］をクリックします。

3. 設定したい宛先の［種別］を選択します。

   参考 登録後は［種別］を変更できません。登録後に［種別］を変更をしたい場合は、宛先を削除して再登録してください。

4. ［次へ］をクリックします。

5. 各項目を設定します。

   ［登録名］はUnicode（UTF-8）を使って1～30文字以内で入力します。

6. ［設定］をクリックします。

   無効な組み合わせの設定値があった場合は、設定可能な組み合わせに自動修正された値が表示されます。修正された値を確認して再度［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

MS Networkを使う

MSネットワーク共有の有効・無効が指定できます。
有効にするとワークグループで共有しているフォルダーにスキャン結果や受信ファクスを転送できます。

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［MS Network］を選択します。

2. ［Microsoftネットワーク共有を使用する］にチェックを入れます。

3. ［ワークグループ］にプリンターが所属するワークグループ名をASCII文字を使って15文字以内で入力します。

4. ［次へ］をクリックします。

5. 設定内容を確認して［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

印刷設定

給紙装置設定

各給紙装置にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

エラー設定

デバイス本体のエラー表示に関する設定をします。

- 用紙サイズエラー
  指定された給紙装置の用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 用紙種類エラー
  指定された給紙装置の用紙タイプと、印刷データの用紙タイプが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 自動エラー解除
  エラーを表示してから5秒間操作パネルの操作がなかった場合に、自動でエラーを解除するかどうか設定します。

外部機器(PC)印刷設定

外部機器からプリンタードライバーを経由しない印刷をするときの設定をします。

Epson Connectサービスを使う

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。
インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

メールプリント	Epson iPrint リモートプリント	スキャン to クラウド機能	リモートプリントドライバー
✓	✓	✓	✓

詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。
https://www.epsonconnect.com/

本体のセキュリティー編

この章では、デバイス本体のセキュリティー設定について説明しています。

本体のセキュリティー機能の紹介

エプソンデバイス本体のセキュリティー機能を紹介します。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークやUSBの接続設定、ファクスの送受信や転送の詳細設定、ユーザーデフォルト設定など、システムに関わる設定をロックし、管理者以外は変更ができないようにします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。Web Config、操作パネル、Epson Device Admin、EpsonNet Configのどこからでも設定や変更ができます。	デバイスに保持されているIDやパスワード、ネットワーク設定、アドレス帳等の情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティーポリシーまたはそれらに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティーリスクにつながる危険性を低減します。
利用者制限設定	利用者ごとに印刷、スキャン、コピー、ファクスなどデバイスで使用できる機能を制限します。あらかじめ登録したユーザーアカウントでログオンした場合に、特定の機能の使用を許可します。	任意のユーザーアカウントを登録し、コピーやスキャンなど許可する機能を選択します。 ユーザーアカウントは10件まで登録できます。	利用者の業務内容や役割に応じた最小限の機能を許可することで、文書データの漏えいや不正閲覧のリスクが低減できます。また、操作パネルからのログオン後、一定時間操作がないと自動でログオフされます。
外部インターフェイス設定	USBポートやNFCポートなどデバイス本体へ接続するインターフェイスを制御できます。	USBメモリーなど外部機器を接続するUSBポート、NFC、コンピューターとのUSB接続の有効、無効を設定します。	• USBポート制御：機密文書の不正スキャンによるデータ持ち出しが低減できます。 • NFC：NFCを使った不正な印刷を防止できます。 • コンピューターのUSB接続：ネットワークを経由しない印刷やスキャンを禁止することで、デバイスの不正使用を防止できます。
プロトコルの制御	印刷、スキャン、PC-FAX送信など、デバイスやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティーリスクを軽減できます。

機能名	どんな機能か	何を設定するのか	何を防止できるのか
SSL/TLS通信	ブラウザー経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどデバイスからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、プリンターにインポートします。	CA署名証明書によってデバイスの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、設定情報や印刷データ内容の漏えいが防げます。

関連情報

- 「Web Configの概要」34ページ
- 「EpsonNet Config」117ページ
- 「Epson Device Admin」117ページ
- 「管理者パスワードの設定」75ページ
- 「利用できる機能を制限する」79ページ
- 「外部インターフェイスの制限を設定する」81ページ
- 「利用するプロトコルを制御する」82ページ
- 「プリンターとのSSL/TLS通信」85ページ

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、管理者以外がシステム管理に関する設定を変更できなくなります。管理者パスワードはWeb Config、操作パネル、ソフトウェア（Epson Device Admin、EpsonNet Config）のいずれからも設定、変更ができます。ツールの操作方法はそれぞれのマニュアルをご覧ください。

関連情報

- 「操作パネルから管理者パスワードを設定する」75ページ
- 「Web Configから管理者パスワードを設定する」76ページ
- 「EpsonNet Config」117ページ
- 「Epson Device Admin」117ページ

操作パネルから管理者パスワードを設定する

プリンターの操作パネルから管理者パスワードを設定をします。

1. プリンターの操作パネルで［設定］を選択します。

2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［セキュリティー設定］の順に選択します。

3. ［管理者設定］を選択します。

4. ［管理者パスワード］ - ［新規設定］の順に選択します。

5. 管理者パスワードを入力します。

6. パスワードを再入力します。

7. 確認画面を閉じます。

   管理者設定画面に戻ります

8. ［管理者ロック］で［オン］を選択し、確認画面を閉じます。

   ロックされたメニュー項目を操作しようとすると管理者パスワードの入力を求められるようになります。

参考

- 管理者パスワードを入力し、ロックを解除してメニュー項目を操作しているときは、システム管理者としてログインしています。
- ［設定］ - ［本体設定］ - ［基本設定］ - ［無操作タイマー設定］を［オン］にすると、一定時間操作パネルを操作しない場合に自動でログオフします。
- 管理者パスワードは、［管理者パスワード］から［変更］または［設定クリア］を選択して、管理者パスワードを入力すると変更や削除ができます。

Web Configから管理者パスワードを設定する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［管理者パスワード変更］を選択します。

2. ［新しいパスワード］と［新しいパスワードの確認］にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。
パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。

3. ［設定］を選択します。

参考
- ロックされている項目を設定、変更するには［管理者ログオン］をクリックして管理者パスワードを入力します。
- 管理者パスワードを削除するには、［本体セキュリティー］タブ - ［管理者パスワード削除］をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

管理者パスワードでロックされる項目

システム管理者はデバイスにおける全機能の設定や、変更の権限を持っています。
また、デバイスに管理者パスワードを設定すると、ネットワーク設定や利用者制限などデバイス管理に関わる項目を変更できないようにロックできます。
システム管理者が制御できる項目は以下の通りです。

アイテム	説明
メンテナンス情報（Web Configのみ）	総印刷ページ数や用紙サイズ、カラー／モノクロ、両面/片面それぞれの印刷ページ数などの情報確認。
アドレス帳のメンテナンス	アドレス帳への宛先の登録や編集。
ユーザーデフォルトの設定	プッシュスキャンやファクスの初期値の設定。
利用者制限	利用を許可する機能や利用者の設定。
プリンターの設定	エラー発生時の動作設定など。
ファクス設定	受信や送信、出力、通信モードなどファクス全般の設定。
無線LAN、有線LAN接続設定	デバイス名やIPアドレスの変更、DNSサーバーやプロキシサーバーの設定など、ネットワーク接続に関する設定変更。
利用サービスの設定	通信プロトコルの制御やMS Network 、ネットワークスキャン、Wi-Fi Directなどのサービス設定。
メールサーバーの設定	デバイスが直接通信するメールサーバーの設定。
LDAPサーバーの設定	LDAPサーバー上のアドレス帳をメールやファクスの宛先として利用する設定。
セキュリティー設定	SSL/TLS通信などネットワークセキュリティーに関する設定。
クラウドサービス接続設定	Epson Connectサービスや他社クラウドサービスの接続設定。また、クラウドサービスに必要なルート証明書の更新。
ファームウェアアップデート	デバイスのファームウェアの更新確認とアップデート。
時間、タイマー設定	スリープ移行時間、自動電源オフ、日付/時刻、無操作タイマーの時間など、タイマーに関する設定。
初期モード設定	プリンターの電源を入れたときに、操作パネルに最初に表示される画面の設定。ホーム画面の代わりにコピーやファクスといった機能の画面を設定できます。
ホーム設定	ホーム画面の配置や背景色の設定。
状態確認の初期画面	操作パネルの［ジョブ/状態］をタップして表示される印刷ジョブやプリンターの状態表示の設定
スキャン設定	メールサーバー設定、読み取り前宛先確認などの設定。
お気に入り設定	登録、削除、並び順変更など、お気に入りに関する設定変更。
アドレス帳の登録・削除制限*	管理者パスワードでロックされている項目のうち、アドレス帳の登録と削除のみ対象から外す設定。 制限の対象外にするには、プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］の順に選択して、［アドレス帳の登録・変更制限］をオフにします。
ジョブ履歴表示*	印刷ジョブ、ファクスの送信、受信ジョブなど、ジョブ履歴の詳細情報の表示関する設定。 制限の対象外にするには、プリンターの操作パネルから［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］-［セキュリティー設定］の順に選択して、［ジョブ履歴表示］をオフにします。
カラーカウント設定	印刷データのカラーカウント方法の設定。
本体情報の送信設定	印刷カウントの情報送信の設定。

アイテム	説明
内部メモリーデータ削除	プリンターの内部メモリーにあるデータを削除する設定。
パスワード印刷ジョブの全削除	パスワード印刷のジョブを全て削除する設定。
初期設定に戻す	プリンターの設定を工場出荷時の状態にする設定。
管理者設定	管理者ロックや管理者パスワードの設定。

* ロックの対象から外すこともできます。

利用できる機能を制限する

プリンターに最大で10人のユーザーを登録でき、それぞれのユーザーが利用できる機能を設定できます。ユーザーは操作パネル上でユーザーIDとパスワードを入力してログオンし、プリンターを使用します。作業が終了したらログオフします。また、一定時間パネル操作がないと自動でログオフされます。
プリンタードライバーやスキャナードライバーからの使用を制限したい場合は、その機種専用のドライバーを使ってください。
Windowsからプリンターを使用する場合、設定したユーザー名とパスワードをプリンタードライバーやスキャナードライバーに登録できます。登録すると、コンピューターからの利用時に自動でユーザー認証されるため、都度パスワードを入力する必要がありません。設定方法はドライバーのヘルプをご覧ください。
Mac OSではこの機能は使えません。

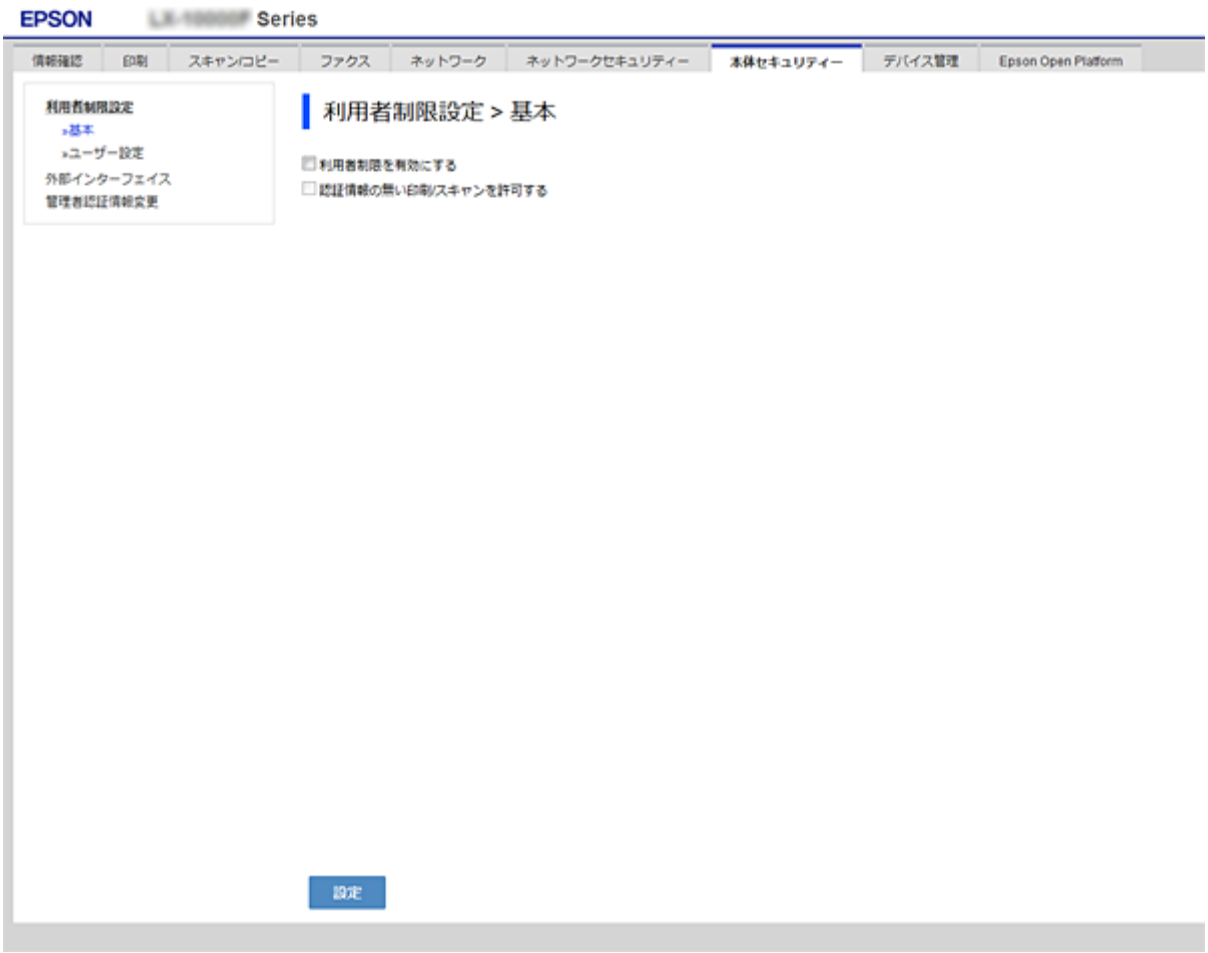
利用制限を設定する

1. Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［基本］を選択します。

2. ［利用者制限を有効にする］にチェックを入れて［設定］をクリックします。

！重要 ［認証情報の無い印刷/スキャンを許可する］のチェックを外すと、以下から送られる認証情報のないジョブは受け付けられません。

- OS標準搭載のドライバー
- PostScriptプリンタードライバー
- Epson ConnectやGoogle Cloud PrintなどのWebサービス
- スマートデバイス



3. ［本体セキュリティー］タブ - ［利用者制限設定］ - ［ユーザー設定］の順に選択します。

4. ［登録］をクリックして、各項目を設定します。

5. ［適用］をクリックします。

参考 既に登録されているユーザーを編集する場合は、［削除］が表示されます。クリックすると登録ユーザーを削除できます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「利用制限設定項目」81ページ

利用制限設定項目

アイテム	設定値と説明
ユーザー名	ユーザー一覧への表示名をASCII（0 x 20-0 x 7E）で表せる1～14文字以内で入力します。
パスワード	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～20文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合は、空白のままにします。
以下の機能の使用を許可する。	チェックされた機能の利用が許可されます。

外部インターフェイスの制限を設定する

コンピューターからのUSB 接続を制限できます。ネットワーク経由以外の印刷やスキャンを制限する場合に設定します。

参考　プリンターの操作パネルからも設定できます。

1.　Web Configで［本体セキュリティー］タブ - ［外部インターフェイス］を選択します。

2. ［有効］または［無効］を選択します。

   制限する場合は［無効］に設定します。

3. ［設定］をクリックします。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

利用するプロトコルを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。また、複合機であればネットワークスキャンやPC-FAXが不特定多数のコンピューターから利用可能になります。例えば、特定の経路やプロトコルの印刷だけを許可したり、ネットワークスキャンやPC-FAXを利用できるようにしたりできます。使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティーリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［プロトコル］を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. ［次へ］をクリックします。

4. ［設定］をクリックします。

   設定がプリンターに反映されます。

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷（AirPrint）などに使われます。
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではプッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷、スキャンができるようになります。
LLTD設定	LLTDの有効･無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。

プロトコル	説明
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。
RAW（Port9100）設定	RAWポート（Port9100）からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート（Port9100）からの印刷ができるようになります。
IPP設定	IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷（AirPrintを含む）ができるようになります。

プロトコルの設定項目

アイテム	設定値と説明
Bonjour設定	
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。この項目を無効にするとAirPrintが使用できなくなります。

アイテム	設定値と説明
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
最優先プロトコル	Bonjour印刷の最優先プロトコルを選択します。
SLP設定	
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。エプソンスキャナーではプッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDによるデバイス追加が有効になります。
印刷タイムアウト (秒)	WSD印刷の通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
スキャンタイムアウト (秒)	WSDスキャンの通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。
LLTD設定	
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。
LLMNR設定	
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	
LPRポートからの印刷を許可する	チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
RAW（Port9100）設定	
RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート（Port9100）からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW（Port9100）印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。

アイテム	設定値と説明
IPP設定	
IPPを有効にする	チェックを入れるとIPP通信が有効になります。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。この項目を無効にするとAirPrintが使用できなくなります。
非セキュア通信を許可する	チェックを入れると非セキュア（IPP）で通信します。
通信タイムアウト（秒）	IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
URL（ネットワーク）	有線LAN、または無線LANで接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
URL（Wi-Fi Direct）	Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
プリンター名	IPPのプリンター名が表示されます。
ロケーション	IPPのロケーションが表示されます。

プリンターとのSSL/TLS通信

SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

使用できる電子証明書

- CA署名証明書
  認証機関（CA局）によって署名された証明書は、CA局に申請して発行してもらいます。信頼性のあるCA局の証明書を使用すると、データ通信の安全が確保できます。CA署名証明書は、取得した各セキュリティー機能だけでなく、他の機能でも使用できます。
- CA証明書
  CA署名証明書のチェーンやチェーン内の証明書です。接続相手サーバーの検証に使用できます。相手サーバーの証明書を発行したCA局から入手します。
- 自己署名証明書
  プリンターが自ら発行し署名した証明書です。証明書としては信頼性がなく、なりすましは防げません。また、SSL通信をすると、ブラウザーからセキュリティー警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

関連情報

➡ 「CA署名証明書の取得とインポート」86ページ
➡ 「CA署名証明書を削除する」90ページ

➡ 「自己署名証明書を更新する」90ページ

CA署名証明書の取得とインポート

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。
ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［証明書］を選択します。

2. ［生成］の［CSR］をクリックします。

   CSR生成画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

   参考　対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

4. ［設定］をクリックします。

   インポートされると完了メッセージが表示されます。

5. ［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［証明書］の順に選択します。

6. CA局規定のファイル形式に従い［CSR］のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。

   ！重要　再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

   送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

8. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

   指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

CSRの設定項目

アイテム	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。 設定例： Web ConfigにアクセスするURL：https://10.152.12.225 コモンネーム：10.152.12.225
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。ディスティングイッシュネーム（CN）はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。

関連情報

➡ 「自己署名証明書を更新する」90ページ

CA署名証明書をインポートする

!重要
- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
- Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［証明書］を選択します。

2. ［インポート］をクリックします。

   証明書インポート設定画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

   インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

   - Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
     - ［秘密鍵］：プリンターで保持しているため設定しない
     - ［パスワード］：設定しない
     - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：任意
   - コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
     - ［秘密鍵］：設定する
     - ［パスワード］：設定しない
     - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：任意
   - コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
     - ［秘密鍵］：設定しない
     - ［パスワード］：任意
     - ［CA証明書1］/［CA証明書2］：設定しない

4. ［設定］をクリックします。

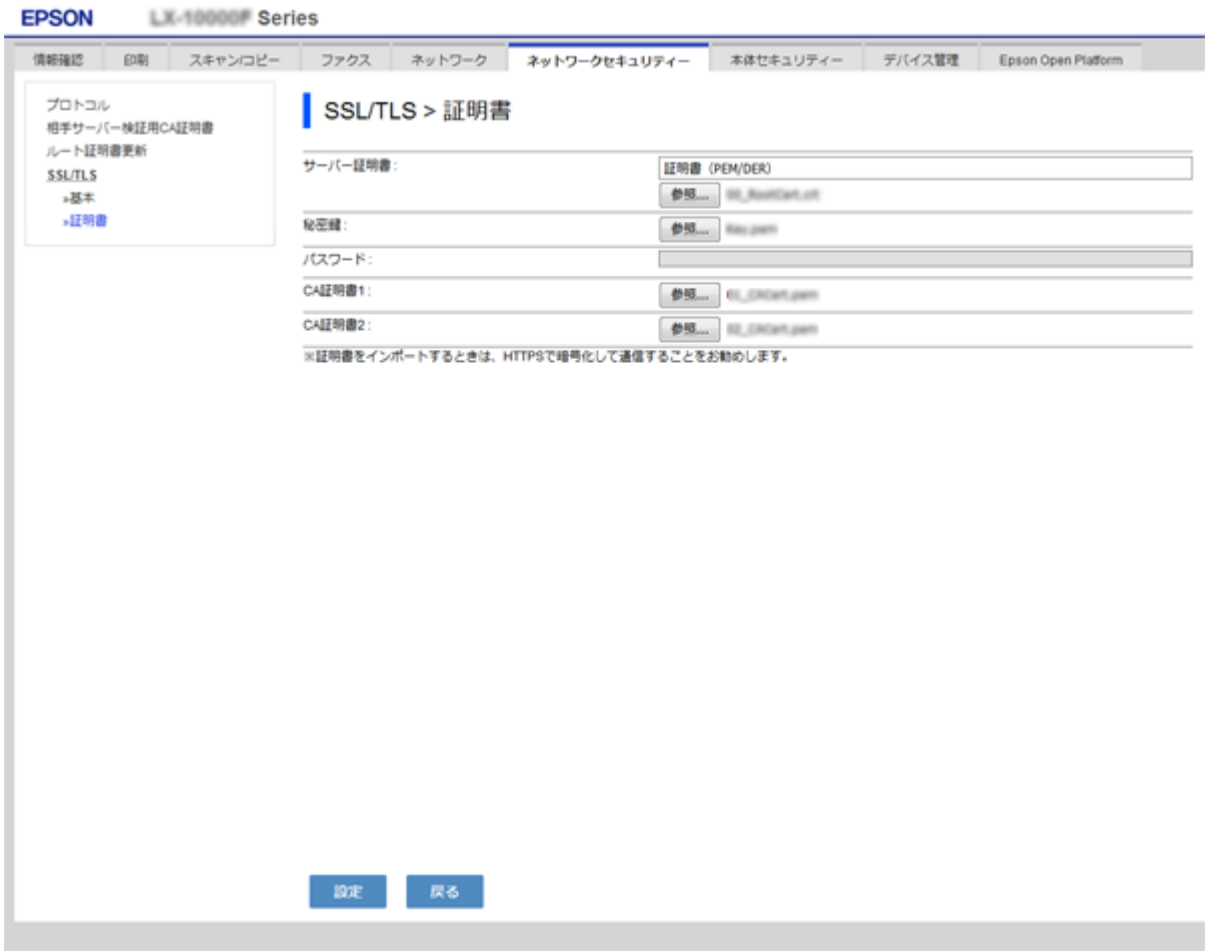
   インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考 ［表示］をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡「Web Configの起動」35ページ
➡「CA署名証明書のインポート設定項目」89ページ

CA署名証明書のインポート設定項目



アイテム	設定値と説明
サーバー証明書またはクライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。
秘密鍵	コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	秘密鍵暗号化のためのパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が［証明書（PEM/DER）］の場合、サーバー証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が［証明書（PEM/DER）］の場合、［CA証明書1］を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」88ページ

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

!重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［証明書］を選択します。
2. ［削除］をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

自己署名証明書を更新する

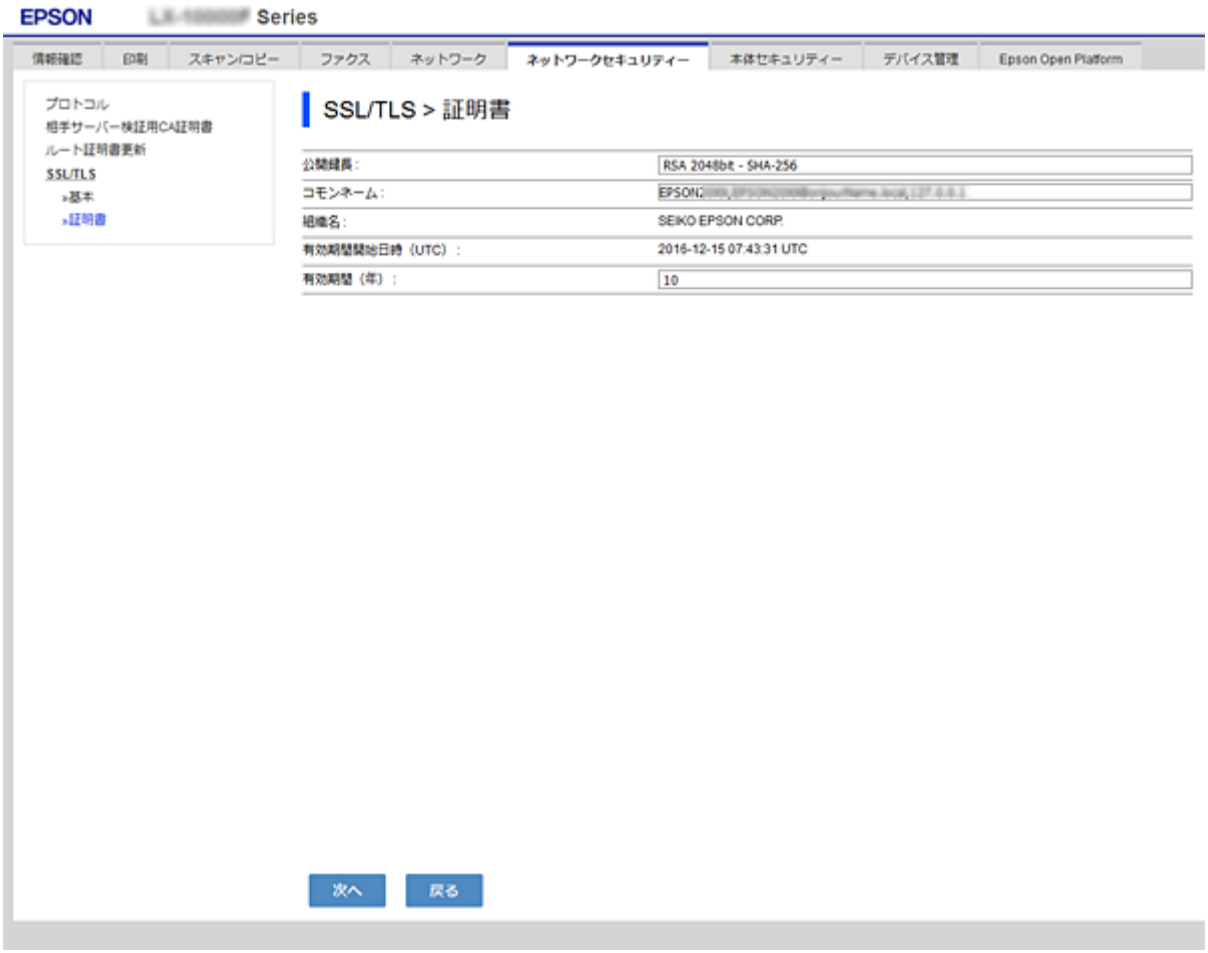
HTTPSサーバー機能を搭載しているプリンターは自己署名証明書の更新ができます。自己署名証明書を使用すると、Web Configの起動時に警告のメッセージが表示されます。
自己署名証明書は、CA署名証明書を取得しインポートするまでの期間中一時的に使用することをお勧めします。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［SSL/TLS］ - ［証明書］を選択します。
2. ［更新］をクリックします。
3. ［コモンネーム］を入力します。

   プリンターにアクセスするIPアドレスやFQDN名などの識別子を入力します。1～128文字以内で入力できます。

   参考 ディスティングイッシュネーム（CN)はカンマで分割できます。

4. 証明書の有効期間を選択します。



5. ［次へ］をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

参考 ［表示］をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

相手サーバー検証用CA証明書を設定する

相手サーバー検証用CA証明書のインポート、表示、削除ができます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

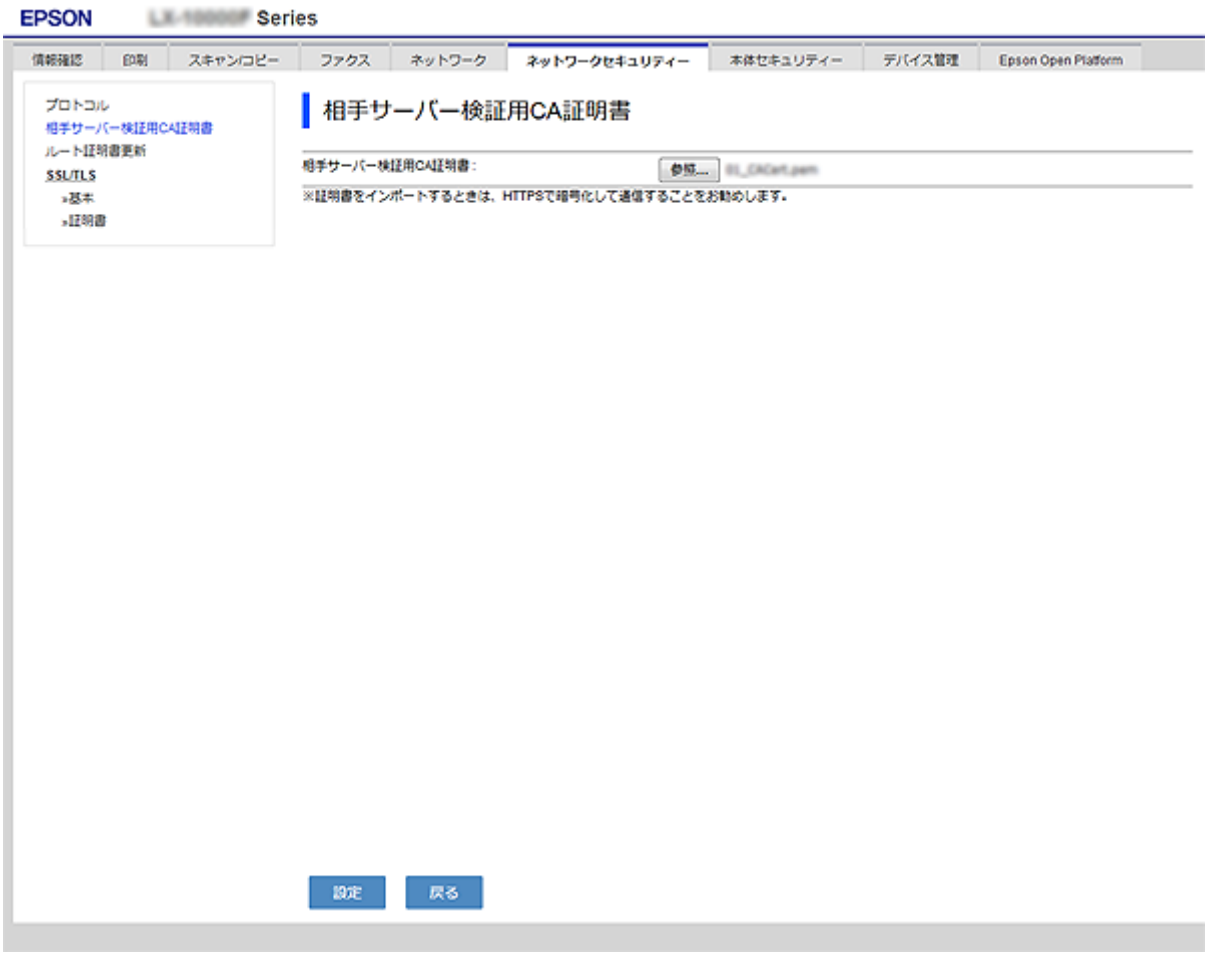
➡ 「CSRの設定項目」87ページ
➡ 「CA署名証明書をインポートする」88ページ

相手サーバー検証用CA証明書をインポートする

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［相手サーバー検証用CA証明書］を選択します。

2. ［インポート］をクリックします。

3. インポートする相手サーバー検証用CA証明書ファイルを指定します。



4. ［設定］をクリックします。

インポートされると［相手サーバー検証用CA証明書］に戻り、インポートされた相手サーバー検証用CA証明書の情報が表示されます。

相手サーバー検証用CA証明書を削除する

インポート済みの相手サーバー検証用CA証明書を削除します。

1. Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ - ［相手サーバー検証用CA証明書］を選択します。

2. 削除したい相手サーバー検証用CA証明書の［削除］をクリックします。

3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

運用・管理編

この章では、デバイスの日常的な運用や管理に関わる事項を説明しています。

デバイスの情報を確認する

Web Configの［情報確認］から、運用しているデバイスの以下の情報を確認できます。

- 製品情報
  言語、ステータス、クラウドサービス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
- ネットワーク情報
  ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- メンテナンス情報
  初回印刷日、インク交換回数、印刷面数、言語別印刷数、スキャン回数などを確認できます。
- ハードウェア情報
  スキャナー、ファクスなど各機能のステータスを確認できます。
- ジョブ履歴
  印刷ジョブ、受信ジョブ、送信ジョブの履歴を確認できます。
- パネルのスナップショット
  デバイスの操作パネルに表示されている画面イメージのスナップショットを表示します。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

デバイスの管理（Epson Device Admin）

Epson Device Adminを使うと多数のデバイスを管理、運用ができます。Epson Device Adminはルーターを越えた場所（別ネットワーク）にあるデバイスも管理ができます。主に以下の管理機能があります。
機能や操作の詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

- デバイスの探索
  ネットワークにあるデバイスを探索して一覧に登録できます。同じネットワークに接続されているエプソン製デバイス（プリンターやスキャナー）ならば、IP アドレスが未設定でも発見できます。
  また、ネットワークにあるコンピューターにUSBで接続されたデバイスも探索できます。コンピューターにはEpson Device USB Agent（エプソン デバイス USB エージェント）がインストールされている必要があります。
- デバイス設定
  デバイスの詳細項目設定をテンプレートにして、デバイスに統一した設定値を適用できます。ネットワークに接続されていれば、IPアドレスが未設定のデバイスにIPアドレスを割り当てることができます。
- デバイスの監視
  ネットワーク上のデバイスから定期的にデバイスの状態や詳細情報を収集できます。また、ネットワーク上のコンピューターにUSBで接続されたデバイスや、デバイスリストに登録した他社製のデバイスも監視できます。USB接続のデバイスを監視するには、コンピューターにEpson Device USB Agentがインストールされている必要があります。

- アラート管理
  紙詰まり、用紙切れ、消耗品交換など、デバイスが出すアラートを監視できます。また、事前に条件を設定するとアラートが発生したときに自動で管理者へメールで通知できます。
- レポート管理
  デバイスや消耗品の使用状況、印刷枚数などの情報を蓄積して定期的にレポートを作成できます。また、作成したレポートの保管やメールでの送信ができます。

関連情報

➡ 「Epson Device Admin」117ページ

ファームウェアのアップデート

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する

プリンターがインターネットに接続されていると、操作パネルでプリンターのファームウェアを更新できます。ファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。

！重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［ファームウェアのアップデート］の順に選択します。

   参考 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、［定期通知設定］ - ［オン］の順に選択します。

3. ［アップデート］を選択します。
4. ［確認開始］を選択します。

   新しいファームウェアがあるかどうかの確認が始まります。

5. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

   ！重要
   - ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動かなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。
     リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。
     1.エプソンのホームページからファームウェアをダウンロードする
     2.コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続する
     3.ファームウェアを更新する
     http://www.epson.jp/support/
     詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

Web Configでファームウェアをアップデートする

Web Configからファームウェアをアップデートします。デバイスのインターネット接続が必要です。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［ファームウェアアップデート］を選択します。

2. ［確認開始］をクリックします。

   ファームウェアの確認が始まり、更新されたファームウェアがあるとファームの情報が表示されます。

3. ［開始］をクリックし、画面の案内に従って操作します。

参考 Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「Epson Device Admin」117ページ

Epson Firmware Updaterを使ってファームウェアをアップデートする

コンピューターでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

1. エプソンのウェブサイトにアクセスして、ファームウェアをダウンロードします。

   http://www.epson.jp/support/

2. ファームウェアをダウンロードしたコンピューターとデバイスをUSBケーブルで接続します。

3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。

   Epson Firmware Updaterが起動します。

4. この後は、画面の指示に従って操作します。

設定のバックアップ

Web Configで設定項目をエクスポートすることで、設定項目を別のプリンターにコピーできます。

設定をエクスポートする

プリンターに設定されている個々の設定値をエクスポートします。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［エクスポート］を選択します。

2. エクスポートしたい設定を選択します。

   チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリーを選択すると、子のカテゴリーが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。

3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。

   ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

4. ［エクスポート］をクリックします。

> **！重要** デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは［本体ごとの個別設定を選択可能にする］にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

> **！重要** プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。IPアドレスが重複する場合は、インポートしても内容は反映されません。

1. Web Configで［デバイス管理］タブ - ［設定のエクスポート/インポート］ - ［インポート］を選択します。

2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。

3. ［次へ］をクリックします。

4. インポートする設定を選択して［次へ］をクリックします。

5. ［設定］をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

トラブルを解決する

トラブルを解決するための情報

本書に記載されていないプリンターに関する情報は以下のマニュアル類をご覧ください。

- ユーザーズガイド
  プリンターをコンピューターから使う方法やインクパックの交換方法、トラブルの解決方法が記載されています。
- Epson Connectページ
  https://www.epsonconnect.com/
  Epson Connectサービスの説明や設定方法、トラブルの解決方法などの情報があります。

サーバーやネットワーク機器のログの確認

ネットワーク接続でのトラブル発生時は、メールサーバーやLDAPサーバー、ネットワーク機器のログ情報を確認したり、コマンドを使ってステータスを確認したりすると原因を特定できることがあります。

設定の初期化

Web Configから無線LANを無効にする

Web Configを使うには、プリンターと機器にIPアドレスが設定されていて、同じネットワークに接続されている必要があります。

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

   操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。

2. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

3. ［ネットワーク］タブ - ［無線LAN］の順に選択して、［無効にする］を選択します。

4. メッセージを確認して、［OK］を選択します。

Web ConfigからWi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にする

Web Configを使うには、プリンターと機器にIPアドレスが設定されていて、同じネットワークに接続されている必要があります。

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

   操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。

2. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。

3. ［ネットワーク］タブ - ［Wi-Fi Direct］の順に選択します。

4. ［Wi-Fi Direct］の［無効］を選択します。

5. ［次へ］をクリックします。

6. メッセージを確認して、 ［設定］を選択します。

操作パネルから無線LANを無効にする

無線LAN（Wi-Fi）接続時に無線LANを無効にすると、無線接続が切断されます。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［ルーター］を選択します。

   ネットワーク状態が表示されます。

3. ［設定を変更する］をタップします。

4. ［その他］ - ［無線LANを無効にする］の順に選択します。

5. メッセージを確認して、 設定を開始します。

6. 完了メッセージが表示されたら、画面を閉じます。

   一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。

7. ネットワーク接続設定画面を閉じます。

操作パネルからWi-Fi Direct(シンプルAP) 接続を無効にする

参考 Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがプリンターと接続されていた場合、 Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。

1. ホーム画面で をタップします。
2. ［Wi-Fi Direct］を選択します。

   Wi-Fi Directの情報が表示されます。
3. ［設定を変更する］をタップします。
4. ［Wi-Fi Directを無効にする］を選択します。
5. メッセージを確認して、 設定を開始します。
6. 完了メッセージが表示されたら、画面を閉じます。

   一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。
7. ネットワーク接続設定画面を閉じます。

操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定全てを購入時の設定に戻します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［初期設定に戻す］ - ［ネットワーク設定］を選択します。
3. メッセージを確認して、 ［はい］を選択します。
4. 完了メッセージが表示されたら、画面を閉じます。

   一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。

デバイスとコンピューターの接続を確認する

コンピューターとの接続をPingで確認する - Windows

Pingを使ってコンピューターとプリンターに通信ができているか確認します。以下の手順で接続を確認してください。

1. 接続を確認したいプリンターのIPアドレスを確認します。

   操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。

2. コンピューターのコマンドプロンプトを表示します。

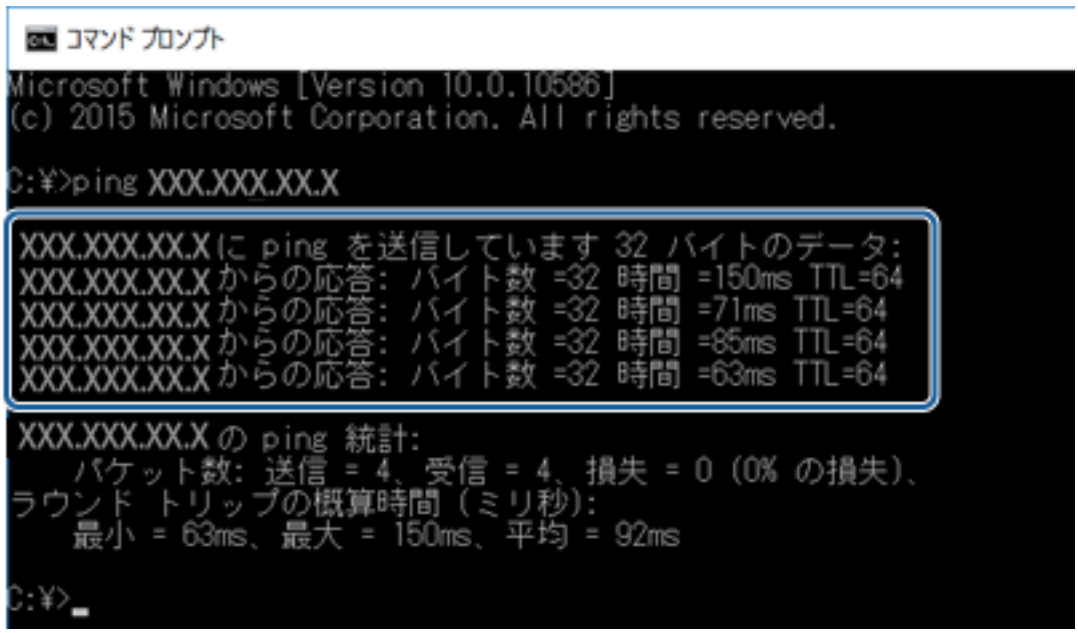
   - Windows 10/Windows Server 2016
     スタートボタンを右クリックまたは長押しして、［コマンドプロンプト］を選択します。
   - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
     アプリ画面を表示して、［コマンドプロンプト］を選択します。
   - Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Vista/Windows Server 2008以前
     スタートボタンをクリックして［すべてのプログラム］または［プログラム］ - ［アクセサリ］ - ［コマンドプロンプト］の順に選択します。

3. 「ping xxx.xxx.xxx.xxx」と入力して、Enterキーを押します。

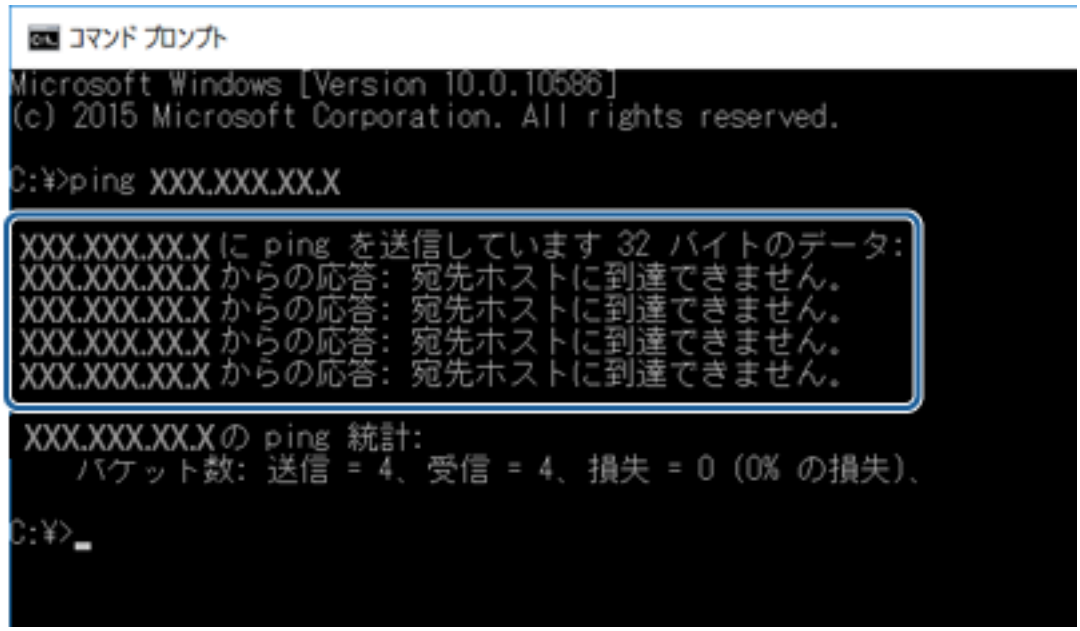
   xxx.xxx.xxx.xxxにはプリンターのIPアドレスを入れてください。

4. 通信状況を確認します。

   プリンターとコンピューターが通信できていると以下のように表示されます。



プリンターとコンピューターが通信できていないと以下のように表示されます。



コンピューターとの接続をPingで確認する - Mac OS

Pingを使ってコンピューターとプリンターの通信ができているか確認します。以下の手順で接続を確認してください。

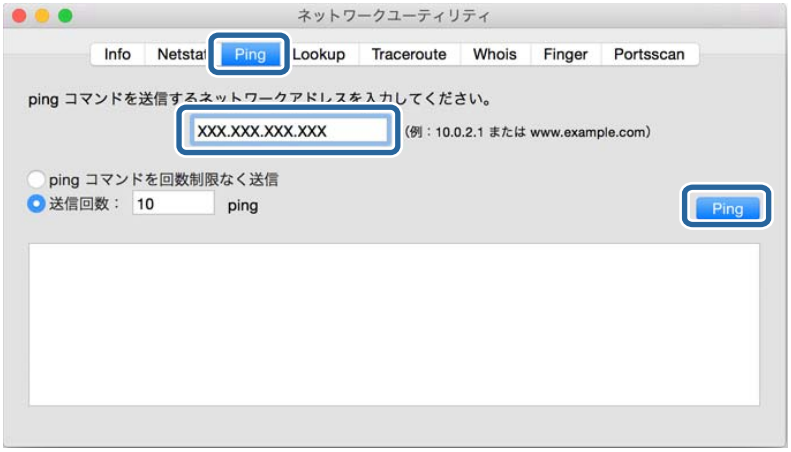
1. 接続を確認したいプリンターのIPアドレスを確認します。

   操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。

2. ネットワークユーティリティを起動します。

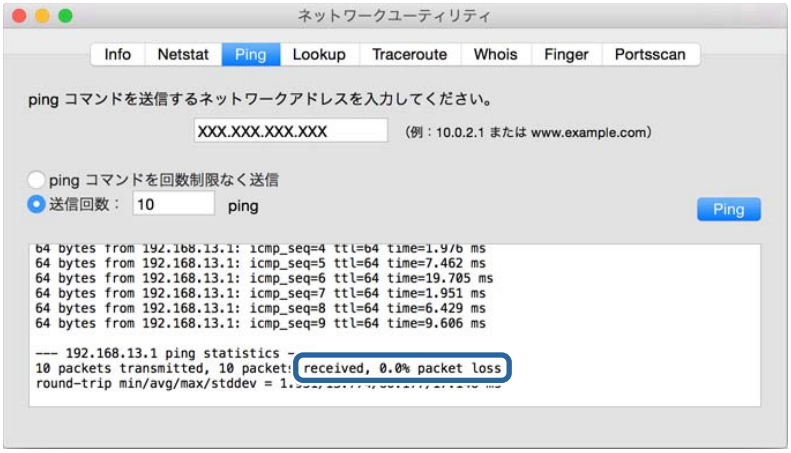
   ［Spotlight］で「ネットワークユーティリティ」と入力して検索してください。

3. ［Ping］タブをクリックし、手順1で確認したIPアドレスを入力して、［Ping］をクリックします。

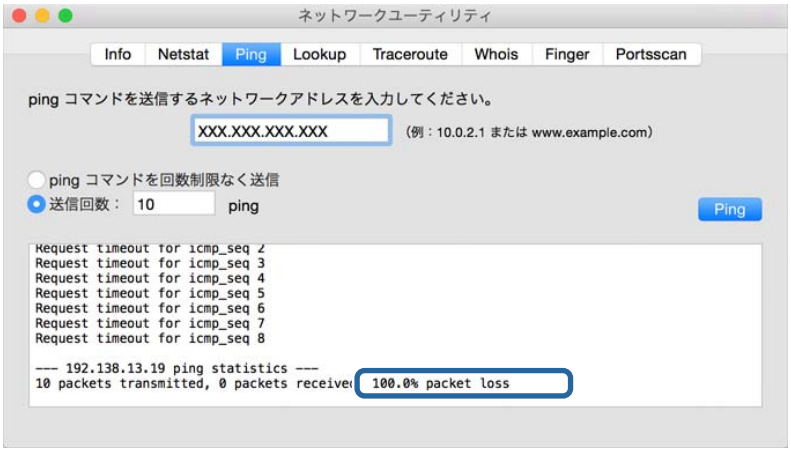


4. 通信状況を確認します。

プリンターとコンピューターが通信できていると以下のように表示されます。



プリンターとコンピューターが通信できていないと以下のように表示されます。



ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターとアクセスポイントの接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. 印刷用紙をセットします。

2. ホーム画面で［設定］を選択します。

3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［接続診断］を選択します。

診断が始まります。

4. ［接続診断結果を印刷する］を選択します。

5. ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

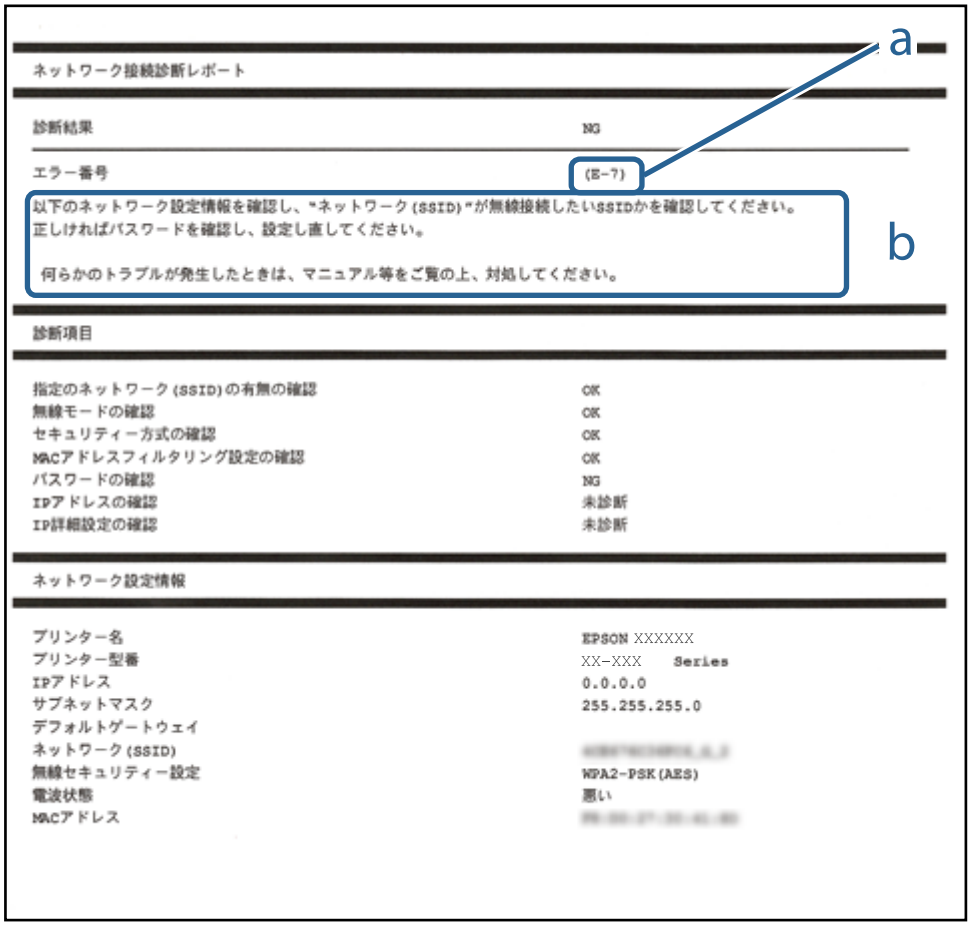
6.　画面を閉じます。

関連情報

➡ 「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」105ページ

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。



a. エラー番号
b. ネットワーク環境に関するメッセージ

E-1

メッセージ：

ネットワークケーブルの接続と、ネットワーク機器の電源を確認してください。

対処方法：

- LAN ケーブルがプリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。

E-2、E-3、E-7

メッセージ：

指定のネットワーク(SSID)が見つかりません。 アクセスポイントの電源およびネットワーク(SSID)を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。
指定のネットワーク(SSID)が見つかりません。 接続するパソコンのネットワーク(SSID)を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。
セキュリティーキーを確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器とアクセスポイントが正常に通信できているか確認してください。
- アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターとアクセスポイントは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください、
- SSIDを直接入力したときは、入力した SSID が正しいかを確認してください。SSID はネットワーク接続診断レポートの ［ネットワーク設定情報］ で確認できます。
- プッシュボタン自動設定で設定するときは、お使いのアクセスポイントがAOSS／WPSに対応しているか確認してください。アクセスポイントがAOSS／WPSに対応していないときは、プッシュボタン自動設定では設定できません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。
- アクセスポイントに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、アクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
  http://epson.sn - ［セットアップ］
  - お使いのネットワーク環境で、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）で設定した
  - この無線LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定した
  - 株式会社バッファロー製のアクセスポイントで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っている

E-5

メッセージ：

セキュリティーの種類を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティー方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティー方式を使用するようアクセスポイントの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES)*
- WPA2 PSK (TKIP/AES)*
- WPA (TKIP/AES)
- WPA2 (TKIP/AES)

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

メッセージ：

アクセスポイントに管理者としてログインし、MACアドレスフィルタリング機能が有効に設定されていないか確認してください。 有効に設定されていると、事前に登録されたMACアドレス以外は接続できません。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録してフィルタリングされないようにしてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。
- アクセスポイントのWEPセキュリティー方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。

E-8

メッセージ：

IPアドレスが割り当てられていません。 ネットワーク機器の設定を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を**自動**にしているときは、アクセスポイントのDHCP を有効にしてください。

- プリンターの TCP/IP 設定を手動にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。有効な IP アドレスをプリンターの操作パネル、または Web Configから設定してください。

E-9

メッセージ：

プリンターを利用するための機器との接続およびネットワーク設定を確認してください。 EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや、同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
http://epson.sn - ［セットアップ］

E-10

メッセージ：

プリンターを利用するための機器との接続、およびプリンターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を確認してください。 EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの ［ネットワーク設定情報］ で確認できます。
DHCP を有効にしているときは、プリンターのTCP/IP設定でIPアドレスを自動にしてください。IP アドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］でプリンターの IP アドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。
それでもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。

E-11

メッセージ：

プリンターのデフォルトゲートウェイの設定を確認してください。 EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの［ネットワーク設定情報］で確認できます。

E-12

メッセージ：

以下を確認してください。不明なときは設定を行った方にご確認ください。 ・プリンターのセキュリティーキーの入力が正しいか ・アクセスポイントに複数のセキュリティーキーが設定されている場合、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているか ・プリンターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定が正しいか

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下の対処を試してみてください。

- アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
  http://epson.sn - ［セットアップ］
- セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

E-13

メッセージ：

以下を確認してください。不明なときは設定を行った方にご確認ください。 ・プリンターのセキュリティーキーの入力が正しいか ・アクセスポイントに複数のセキュリティーキーが設定されている場合、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているか ・プリンターを利用するための機器との接続およびネットワーク設定が正しいか

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（アクセスポイント、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が手動で、プリンターのTCP/IP設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試しください。

- アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
  http://epson.sn - ［セットアップ］
- セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティーキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
* 指定のネットワーク(SSID)が複数見つかりました。ご確認ください。	複数のアクセスポイントに同じSSIDが設定されている可能性があります。アクセスポイントの設定を確認して、SSIDを変更してください。
*無線環境の改善が必要です。 アクセスポイントの電源を入れ直してください。 それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターをアクセスポイントの近くに移動して、アクセスポイントの電源を切ります。約10秒待ってから電源を入れます。それでも接続できない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。 機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器は4台までです。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除してから追加してください。

ネットワークステータスシートを印刷する

ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

1. 印刷用紙をセットします。
2. ホーム画面で［設定］を選択します。
3. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［ネットワーク情報］を選択します。
4. ［ステータスシート印刷］を選択します。
5. メッセージを確認して、ネットワークステータスシートを印刷します。
6. 画面を閉じます。

   一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。

ソフトウェア使用時のトラブル

Web Configにアクセスできない

プリンターにIPアドレスを設定していますか？

EpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

SSL/TLSの暗号強度に対応するメッセージ暗号化に、Webブラウザーが対応していますか？

SSL/TLSの暗号強度に対応するメッセージ暗号化は以下の通りです。以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザーで、Web Configを起動できます。ブラウザーの暗号強度の対応ビットをご確認ください。

- 80ビット: AES256/AES128/3DES
- 112ビット: AES256/AES128/3DES
- 128ビット: AES256/AES128
- 192ビット: AES256
- 256ビット: AES256

Web ConfigにSSL通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されましたか？

証明書の有効期限が切れていたら証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

Web ConfigにSSL通信（https）で接続したときに「セキュリティー証明書の名前が一致しません....」と表示されましたか？

自己署名証明書またはCSRの作成時に［コモンネーム］で記述したアドレスとブラウザーに入力したアドレスが一致していません。証明書を取得し直すか、プリンター名を変更してください。

プリンターをプロキシサーバー経由で使用していますか？

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザーのプロキシサーバーの設定が必要です。

- Windows：
  ［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］－［接続］－［LANの設定］の［プロキシ サーバー］で、ローカルアドレスにプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS：
  ［システム環境設定］－［ネットワーク］－［詳細］－［プロキシ］で［プロキシ設定を使用しないホストとドメイン］にローカルアドレスを登録します。
  設定例：
  ローカルアドレス192.168.1.XXX、サブネットマスク255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
  ローカルアドレス192.168.XXX.XXX、サブネットマスク255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「IPアドレスを設定する」17ページ
➡ 「EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する」118ページ

EpsonNet Configで製品名やIPアドレスが表示されない

Windowsセキュリティの重要な警告画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、［ブロックする］、［キャンセル］や［遮断する］を選択しましたか？

［ブロックする］、［キャンセル］や［遮断する］を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Config またはEpsonNet Setupで製品名が表示されません。
通信を可能にするには、Windowsファイアウォールや市販のセキュリティーソフトでEpsonNet Configを例外アプリケーションとして登録してください。それでも表示できないときは、市販のセキュリティーソフトを終了してからEpsonNet Configを再度起動してください。

通信エラーのタイムアウトが短い設定になっていませんか？

EpsonNet Configの［ツール］－［オプション］－［タイムアウト］で、［通信エラー］とする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、検索に時間がかかるためEpsonNet Configの動作は遅くなります。

関連情報

➡ 「EpsonNet Configの起動 - Windows」118ページ
➡ 「EpsonNet Configの起動 - Mac OS」118ページ

クラウドサービス使用時のトラブル

クラウドサービスを利用できなくなった

以下のメッセージが操作パネルに表示されますか？

このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。

このメッセージが表示された場合は、Web Configで［ネットワークセキュリティー］タブ- ［ルート証明書更新］を選択し、［開始］をクリックしてアップデートしてください。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ

セキュア環境への接続時のトラブル

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

正しい証明書をSSL/TLSのサーバー証明書に指定しましたか？

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていますか？

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

➡ 「プリンターとのSSL/TLS通信」85ページ

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA 署名証明書と作成したCSRの情報が一致していますか？

CA署名証明書とCSRは、不一致の情報の場合インポートできません。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしていませんか？
  情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成しましたか？
  再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えていませんか？

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードは正しいですか？

パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」88ページ

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

［コモンネーム］は必ず入力してください。

コモンネームに入力可能な文字以外（例：日本語）を入力していませんか？

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると［コモンネーム］はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ 「自己署名証明書を更新する」90ページ

CSRが作成できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

［コモンネーム］は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に入力可能な文字以外を入力していませんか？例えば日本語は使えません。

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると［コモンネーム］はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ 「CA署名証明書を取得する」86ページ

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	**原因：** インポートするファイルが指定されていません。 **対処：** ファイルを選択してから［インポート］をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	**原因：** CA証明書1が未入力で、CA証明書2が入力されています。 **対処：** 先にCA証明書1をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	**原因：** ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 **対処：** 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	**原因：** プリンターに日付や時刻が設定されていません。 **対処：** Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	**原因：** CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 **対処：** 正しいパスワードを入力してください。
不正なファイルです。	**原因：** インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 **対処：** 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 **対処：** ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 **対処：** 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	**原因：** PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。 **対処：** PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。

メッセージ	原因と対処
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	**原因：** 証明書の有効期限が切れています。 **対処：** • 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 • 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	**原因：** 証明書と対になった秘密鍵がありません。 **対処：** • コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 • コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとしました。 **対処：** Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	**原因：** プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 **対処：** 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

関連情報

➡ 「使用できる電子証明書」85ページ

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがありますか？

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。
Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書を削除する」90ページ
➡ 「CA署名証明書をインポートする」88ページ

付録

ネットワーク関連のソフトウェア

デバイスの設定、管理用のソフトウェアを紹介します。

Epson Device Admin

Epson Device Adminは、デバイスのネットワークへの導入、設定、管理ができるアプリケーションソフトです。デバイスのステータスや消耗品情報などの詳細情報を把握し、アラートを通知したり、使用状況をレポートしたりできます。デバイスの詳細項目設定をテンプレートにして、デバイスに統一した設定値を適用できます。Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。

Epson Device Adminの起動（Windowsのみ）

［すべてのプログラム］ - ［EPSON］ - ［Epson Device Admin］から［Epson Device Admin］を選択します。

参考 Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、Epson Device Adminを例外のプログラムに登録してください。

EpsonNet Config

EpsonNet Configは、IPアドレスのアサインや接続形態の変更などプリンターのネットワーク設定ができるアプリケーションソフトです。Windows版はバッチファイルを使用して複数台のプリンターを同時に設定できます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。

EpsonNet Configの起動 - Windows

［すべてのプログラム］－［EpsonNet］－［EpsonNet Config SE］から［EpsonNet Config］を選択します。

参考 Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、EpsonNet Configを例外のプログラムに登録してください。

EpsonNet Configの起動 - Mac OS

［移動］－［アプリケーション］－［Epson Software］－［EpsonNet］－［EpsonNet Config SE］から［EpsonNet Config］を選択します。

EpsonNet Print（Windowsのみ）

TCP/IP上でネットワーク印刷するためのソフトウェアです。以下のような機能や制限があります。詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

- スプーラー画面にプリンターのステータスが表示できます。
- DHCP機能によって変更されたIPアドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所（別セグメント）のプリンターも使用できます。
- 印刷データの送信プロトコルが使い分けられます。
- IPv6アドレスには対応していません。

EpsonNet SetupManager

ネットワークプリンターのドライバーやEPSONプリンターウィンドウ！3のインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。環境の異なるドライバーのパッケージを一括して作成できるため、ドライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う環境構築作業を大幅に軽減できます。
詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する

EpsonNet Configを使ってプリンターのIPアドレスを設定できます。EpsonNet Configを使うと IPアドレスを設定していないプリンターにLANケーブルで接続してからIPアドレスを割り当てられます。無線LANに接続する場合は、一旦有線LANで接続して接続形態を変更します。

一括でIPアドレスを設定する

一括設定するためのファイルを作成する

MAC アドレスと機種名をキーにして、 IPアドレスを設定するための SYLKファイルを作成します。
プリンターを無線LANで使用する場合は、以下の手順でIPアドレスを割り当てた後、無線LAN接続に変更してください。

1. 表計算ソフト（Microsoft Excel）またはテキストエディターを起動します。

2. 設定項目名として「Info_MACAddress」（MAC アドレス）と「Info_ModelName」（機種名）、「TCPIP_IPAddress」（IP アドレス）を 1 行目に入力します。

   設定項目は、以下の文字列通りに入力してください。大文字/小文字、全角/半角を識別するため、1文字でも異なると設定項目として認識されません。
   以下の設定項目を入力することで、EpsonNet Configが各行に記載される情報の意味を判断します。

Info_MACAddress	Info_ModelName	TCPIP_IPAddress

3. 各行に MACアドレスと機種名、設定したい IPアドレスを入力します。

Info_MACAddress	Info_ModelName	TCPIP_IPAddress
0000XXXX0001	ALC-XXXXX	192.168.100.102
0000XXXX0002	ALC-XXXXX	192.168.100.103
0000XXXX0003	ALC-XXXXX	192.168.100.104

4. 任意の名称で SYLKファイル（拡張子 .slk）として保存します。

設定ファイルを適用して一括設定する

設定ファイル（SYLKファイル）に記載した IPアドレスを、一括してプリンターに割り当てます。あらかじめ設定ファイルを作成しておきます。
プリンターを無線LANで使用する場合は、以下の手順でIPアドレスを割り当てた後、無線LAN接続に変更してください。

1. LANケーブルで全てのデバイスをネットワークに接続します。

2. プリンターの電源を入れます。

3. EpsonNet Configを起動します。

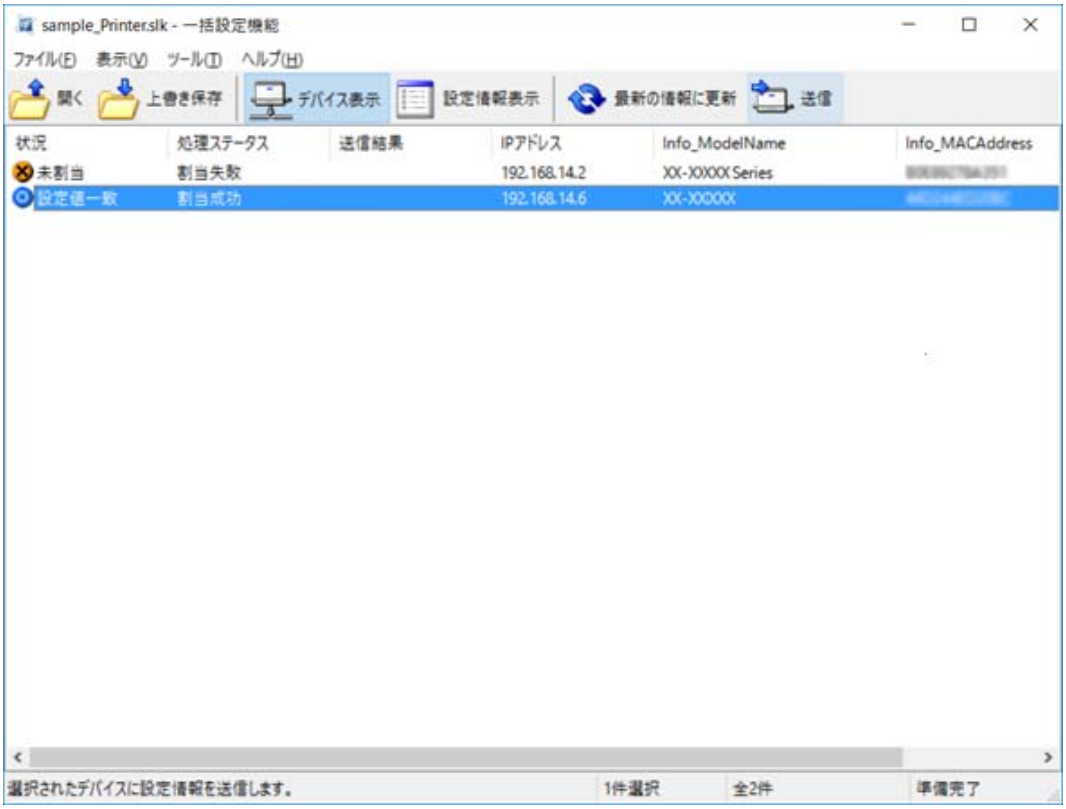
   ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。

4. ［ツール］ - ［一括設定］をクリックします。

5. ［開く］をクリックします。

6. ファイル選択画面で、設定値を記述した SYLK ファイル（拡張子.slk）を選択してから、［開く］をクリックします。

7. ［状況］の欄が［未割当］、［処理ステータス］が［割当成功］となっているデバイスの中から、一括設定するデバイスを選択します。
複数選択するときは、マウスでドラッグするか、CtrlキーまたはShiftキーを押したままクリックして選択します。

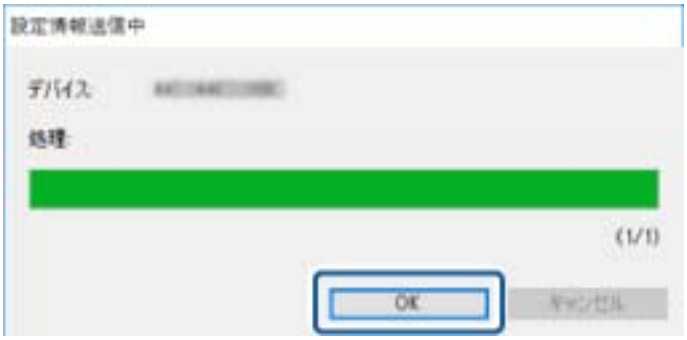


8. ［送信］をクリックします。

9. パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。
設定が送信されます。

> **！重要** プログレスバーが終了するまではネットワークインターフェイスに情報が送られています。デバイスまたは無線アダプターの電源を切ったり、データをデバイスに送ったりしないでください。

10. ［設定情報送信中］画面で［OK］をクリックします。



11. 設定したデバイスの状況を確認します。

や が表示された デバイスは、設定ファイルの記載内容やデバイスが正常に再起動したか確認してください。

アイコンの状態	状況	処理ステータス	説明
	設定完了	設定成功	正常に設定が完了しました。
	設定完了	復帰確認中	情報を送信すると設定を有効にするために各デバイスが再起動されます。再起動後正常に接続できるか確認しています。
	設定完了	復帰確認失敗	設定送信後にデバイスが確認できません。デバイスの電源が入っているか、正常に再起動したか確認してください。
	設定完了	探索中	設定ファイルに記載されているデバイスを探索中です。*
	設定完了	探索失敗	既に設定が完了したデバイスが確認できません 。デバイスの電源が入っているか、正常に再起動したか確認してください。*

*：設定情報表示時のみ

関連情報

➡ 「EpsonNet Configの起動 - Windows」118ページ
➡ 「EpsonNet Configの起動 - Mac OS」118ページ

IPアドレスを個別に設定する

EpsonNet ConfigでプリンターのIPアドレスを設定します。

1. プリンターの電源を入れます。

2. LANケーブルでプリンターをネットワークに接続します。

3. EpsonNet Configを起動します。

   ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。

4. 設定するプリンターをダブルクリックします。

   参考 同じ製品名のプリンターを複数台接続した場合は、MACアドレスで識別できます。

5. 左のメニューから［ネットワーク］ - ［TCP/IP］ - ［基本］を選択します。

6. ［IPアドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］を設定します。

参考 セキュアなネットワークにプリンターを接続する場合は、固定アドレスを設定してください。

7. ［送信］をクリックします。

設定情報の送信を確認する画面が表示されます。

8. ［OK］をクリックします。

送信完了の画面が表示されます。

参考 「設定は正常に更新されました。」のメッセージが表示されるまではデバイスに情報を送っています。デバイスの電源を切ったり、データをデバイスに送ったりしないでください。

9. ［OK］をクリックします。

関連情報

➡ 「EpsonNet Configの起動 - Windows」118ページ
➡ 「EpsonNet Configの起動 - Mac OS」118ページ

操作パネルを使って無線LANに接続する（WPS）

プリンターの操作パネルでWPS機能を使った無線LAN接続ができます。

関連情報

➡ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」123ページ
➡ 「PINコードで設定する(WPS)」124ページ

プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）

アクセスポイントのプッシュボタンで無線LAN（Wi-Fi）を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- アクセスポイントがAOSSやWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している
- 既存の無線LAN（Wi-Fi）をプッシュボタンで設定している

参考　プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

1. ホーム画面で　をタップします。

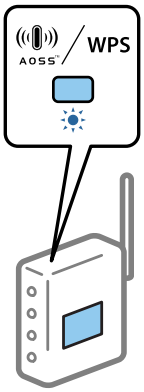
2. ［ルーター］を選択します。

3. ［設定に進む］をタップします。

   既にネットワーク設定されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は［無線LAN接続に変更する］または［設定を変更する］をタップします。

4. ［プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)］を選択します。

5. アクセスポイントのプッシュボタンをランプが点滅するまで押します。



   プッシュボタンの位置がわからない、またはボタンが見当たらない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

6. ［設定を開始する］をタップします。

7. 画面を閉じます。

   一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。

   参考　接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、アクセスポイントとプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

8. ネットワーク接続設定画面を閉じます。

PINコードで設定する(WPS)

PINコードを使ってアクセスポイントに接続する方法です。アクセスポイントがWPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードをアクセスポイントに入力するときに、コンピューターを使います。

1. ホーム画面で をタップします。

2. ［ルーター］を選択します。

3. ［設定に進む］をタップします。

   既にネットワーク設定されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更する場合は［無線LAN接続に変更する］または［設定を変更する］をタップします。

4. ［その他］ - ［PINコード自動設定(WPS)］の順に選択します。

5. プリンターに表示されているPINコード（8桁の数字）を、2分以内にコンピューターからアクセスポイントに入力します。

   参考 PINコードの入力方法は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

6. ［設定を開始する］をタップします。

7. 画面を閉じます。

   一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。

   参考 接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、アクセスポイントとプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

8. ネットワーク接続設定画面を閉じます。

接続方法を変更する

既存のネットワーク接続方法を変更します。ネットワークが正常に動いている状態で変更してください。
IPアドレス取得を手動設定にしている場合、接続変更するネットワークで同じIPアドレスが使えるか、ネットワーク管理者に確認してから操作を始めてください。

参考 無線LANを有効にすると、有線LANは無効になります。

関連情報

➡ 「有線LANから無線LANへの接続変更」125ページ
➡ 「無線LANから有線LANへの接続変更」125ページ

有線LANから無線LANへの接続変更

操作パネルで無線LAN接続に変更する

プリンターの操作パネルで有線LAN接続から無線LAN接続に変更します。変更方法は操作パネルを使った無線LAN接続設定と同じです。このマニュアル内の無線LAN接続設定の説明をご覧ください。

関連情報

➡ 「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi)を手動で設定する」22ページ

Web Configで無線LAN接続に変更する

Web Configを使って有線LANから無線LANに接続変更します。

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［無線LAN］を選択します。

   管理者パスワードが設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して管理者としてログオンします。

2. ［設定］をクリックします。

3. 表示されたSSIDの一覧から接続したいネットワーク（SSID）を選択して、パスワードを入力します。

   アクセスポイントの設定によってはSSID が表示されないことがあります。その場合は［SSID入力］を選択して、接続するSSIDを直接入力してください。

4. ［次へ］をクリックします。

5. 表示された内容を確認して［設定］をクリックします。

6. プリンターに接続されているLANケーブルを抜きます。

参考 EpsonNet ConfigやEpson Device Adminなどのツールを使用して接続変更することもできます。詳細はツールのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」35ページ
➡ 「EpsonNet Config」117ページ
➡ 「Epson Device Admin」117ページ

無線LANから有線LANへの接続変更

操作パネルで有線LAN接続に変更する

無線LAN（Wi-Fi）接続時に操作パネルから有線LAN接続に変更するには以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で［設定］を選択します。
2. ［本体設定］ - ［ネットワーク設定］ - ［有線LAN接続設定］を選択します。
3. ［設定を開始する］をタップします。
4. メッセージを確認して画面を閉じます。

   一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。
5. プリンターとルーターをLANケーブルで接続します。

Web Configで有線LAN接続に変更する

Web Configを使って無線LAN接続から有線LAN接続に変更します。

1. Web Configで［ネットワーク］タブ - ［無線LAN］を選択します。

   管理者パスワードが設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して管理者としてログオンします。
2. ［無効にする］をクリックします。
3. メッセージを確認して、［OK］を選択します。
4. プリンターとハブ（L2スイッチ）をLANケーブルで接続します。

参考 EpsonNet ConfigやEpson Device Adminなどのツールを使用して接続変更することもできます。詳細はツールのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

- 「Web Configの起動」35ページ
- 「EpsonNet Config」117ページ
- 「Epson Device Admin」117ページ

プリンターが使用するポート

プリンターは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめネットワーク管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元（クライアント）	用途	送信先（サーバー）	プロトコル	ポート番号
プリンター	ファイル送信（プリンター本体のスキャン to フォルダー機能利用時）	FTPサーバー	FTP （TCP）	20
				21
		ファイルサーバー	SMB （TCP）	445
			NetBIOS（UDP）	137
				138
			NetBIOS（TCP）	139
	メール送信（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	SMTPサーバー	SMTP （TCP）	25
			SMTP SSL/TLS（TCP）	465
			SMTP STARTTLS（TCP）	587
	POP before SMTP接続（プリンター本体のスキャン to メール機能利用時）	POPサーバー	POP3 （TCP）	110
	Epson Connectを利用した機能の利用	Epson Connectサーバー	HTTPS	443
			XMPP	5222
	Googleクラウドプリントからの印刷	Google Cloud Printサーバー	HTTPS	443
			XMPP	5222
	ユーザー情報取得（プリンター本体のアドレス帳利用時）	LDAPサーバー	LDAP（TCP）	389
			LDAP SSL/TLS（TCP）	636
			LDAP STARTTLS（TCP）	389
	メール送信時のユーザー認証 ユーザー情報取得時のユーザー認証（プリンター本体のアドレス帳利用時）	KDCサーバー	Kerberos	88
	WSDの制御	クライアントコンピューター	WSD（TCP）	5357

送信元（クライアント）	用途	送信先（サーバー）	プロトコル	ポート番号
クライアントコンピューター	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索	プリンター	ENPC （UDP）	3289
	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定	プリンター	SNMP （UDP）	161
	LPRデータの転送	プリンター	LPR（TCP）	515
	RAWデータの転送	プリンター	RAW（Port9100）（TCP）	9100
	AirPrint（IPP/IPPS印刷）のデータの転送	プリンター	IPP / IPPS（TCP）	631
	WSDのプリンター探索	プリンター	WS-Discovery（UDP）	3702

操作パネルの管理者用設定メニュー

操作パネルの［設定］-［本体設定］-［管理者用設定］で表示される設定項目は以下の通りです。（ ）は初期値です。管理者パスワードが設定されていると、これらの項目はロックされています。操作するには、管理者としてプリンターにログオンしてください。

アドレス帳管理	

	アドレス帳登録・変更		
		宛先登録	
		編集	
		削除	
	常用管理		
		ファクス	
		メール	
		フォルダー	
	アドレス帳印刷		
		全ての宛先の印刷	
		ファクスの宛先の印刷	
		E メールの宛先の印刷	
		フォルダーの宛先の印刷	
	アドレス帳表示方法設定		（タイル表示）
		タイル表示	
		リスト表示	
	アドレス帳検索設定		（前方一致）
		前方一致	
		後方一致	
		含む	
セキュリティー設定			
	ジョブ履歴表示		(オン)
	アドレス帳の登録・変更制限		(オフ)
	利用者制限		
		利用者制限	(オフ)
		利用者情報がないジョブの許可設定	
	パスワード印刷ジョブの全削除		
	管理者設定		
		管理者パスワード	
		管理者ロック	(オフ)

初期設定に戻す		
	ネットワーク設定	
	コピー設定	
	スキャン設定	
	ファクス設定	
	全て初期化	
ファームウェアのアップデート		
	アップデート	
	定期通知設定	(オン)

関連情報

➡ 「操作パネルから管理者パスワードを設定する」75ページ